町民アンケート調査結果報告書

平成28年12月

三重県紀宝町

目 次

Ι	調査の概要及び回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1
1	調査の概要		. 1
	(1)調査目的		. 1
	(2)調査対象及び調査方法		. 1
	(3)配布数及び回収結果		. 1
2	本調査報告書の基本的な事項		. 1
	(1)数値の基本的な取り扱いについて		
	(2) アンケート回収数からの標本誤差について		2
4	回答者の属性		4
	(1)性別		4
	(2)年齢		
	(3)世帯構成		
	(4)職業		
	(5) 就学先・勤務先		
	(6) 居住年数		
	(7)居住地区		6
П	調査結果		7
1	まちへの愛着度について		. 7
2	まちへの定住意向について		10
3	まちの魅力について		13
4	町政に対する現状評価と今後の期待について		16
	(1) まちの各環境に関する満足度		16
	(2) まちの各環境に関する重要度		26
	(3)満足度と重要度の相関(優先度)		35
5	町の将来像(あるべき姿)について		41
6	あなたの生活や地域のことについて		44
Ш	自由意見	(99
IV	アンケート票	10	00

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1)調査目的

本調査は、これまでの町の取り組みに対する評価や町民の日頃の行動や考えを把握することで、町の取り組みの達成度を図る指標とし、今後の町政運営の基礎資料とするために実施したものです。

(2)調査対象及び調査方法

項目	内容			
調査対象	18 歳以上の町民			
配 布 数	1, 100			
抽出法	無作為抽出			
調査方法	郵送法(郵送による配布・回収)			
調査時期	平成 28 年 7 月			
調査地域	町内全域			

(3)配布数及び回収結果

配布数	1, 100
全回収数	393
有効回収数	392
有効回収率	35. 7%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1)数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。 従って、合計が100%を上下する場合もあります。
- ②基数となるべき実数は、" $n = \bigcirc\bigcirc\bigcirc$ " として掲載し、各比率はn を 100% として算出しています。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ④文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部簡略化してあります。

(2) アンケート回収数からの標本誤差について

統計調査のなかで、調べたい対象全体を調べる(悉皆調査)のではなく、標本すなわち調査対象である世帯や個人、施設などを一部抽出・選定して実施される調査を標本調査といいます。この標本調査では、調査した対象が、全体とは必ずしも一致しないことに起因する標本誤差というものが存在します。すなわち、標本調査の結果として統計表などに示されている結果数値は、この標本誤差を含んだものとして見る必要があります。標準誤差は、無作為標本調査による推計結果値が真の値からどのくらい離れているかの幅を示す数値です。

無作為抽出により実施した標本調査では、推計値の前後にそれぞれ標準誤差の2倍の値をとると、真の値は約95パーセントの確率でこの幅の中にあるといえるという性質があります。

誤差の大きさは、抽出の方法(無作為抽出の方法という意味)や調査対象とした集団の性質など、様々な要因により影響をうけますが、最も関連性を持つのが「標本数の大きさ」、すなわち、調査の客体としたサンプル数です。例えば、同一の調査、同一の項目においては、サンプル数が多い程標準誤差は小さくなり、逆に、サンプル数が少ない程標本誤差は大きくなります。

一般的には、標本誤差を小さくなるようにしたほうが、推計値の精度が上がることから、標本誤差の観点からは、サンプル数を増やして調査を行うほうが望ましいことになりますが、サンプル数が増加すると調査の手間や経費などが増加するため、むやみにサンプル数を増やすわけにはいきません。

従って、サンプル数の決定は、誤差の大きさとコストなどとの兼ね合いということになります。その標本調査の推計値の標本誤差をどの程度におさめて、サンプル数をいくつにするかというのが、標本調査の企画における重要な部分になりますが、これを「標本設計」とよんでいます。国が実施している調査では、見たい項目についての誤差の程度、標準誤差率を5パーセント程度におさめるようにする設計が行われているのが多くなっています。

標本誤差は下記の式で得られ、①比率算出の基数 (n)、②回答の比率 (p) によって誤差幅が異なります。

標本誤差=
$$\pm 2\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母数集団 (紀宝町の 18 歳以上人口)

n = 比率算出の基数 (回答者数)

p = 回答の比率 (%)

そこで、本調査の標本誤差について計算すると、サンプル数が 1,100、回答者数が 393、 回収率は 35.7%であり、これを前ページの式にあてはめて計算すると、

測定値(%)	信頼区間の 1/2 幅(%)
50	4.9
45 • 55	4.9
40-60	4.8
35-65	4.7
30•70	4.5
25•75	4. 3
20.80	4.0
15•85	3. 5
10-90	3.0
5•95	2. 2

となり、すべて区間において誤差率は5パーセント内に納まっています。

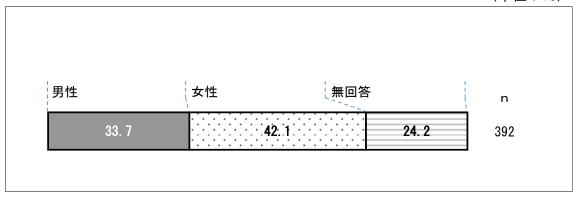
この表の使い方は、ある設問に対しての回答が50%であったとすると、測定値50の1/2幅は4.9%ですから、同じアンケートを別の1,100人に行っても、 $45.1\sim54.9\%$ の間で回答が得られるということを示しています。

4 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別構成については、「男性」が33.7%「女性」が42.1%となっています。

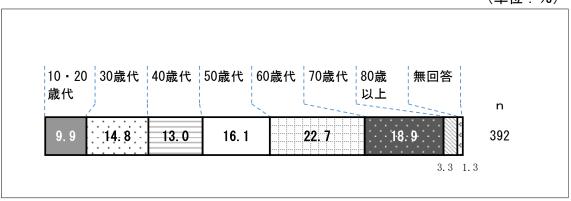
(単位:%)



(2)年齢

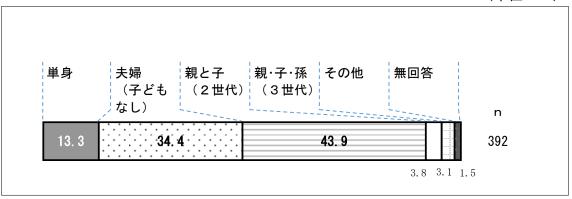
回答者の年齢構成については、「60 歳代」が 22.7%で最も多く、次いで「70 歳代」 (18.9%)、「50 歳代」(16.1%)、「30 歳代」(14.8%)、「40 歳代」(13.0%)、「10・20 歳代」(9.9%)、「80 歳以上」(3.3%)の順となっています。

(単位:%)



(3)世帯構成

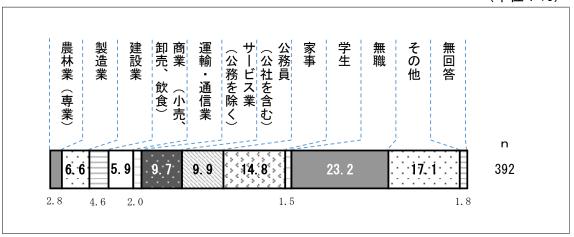
回答者の世帯構成については、「親と子(2世代)」が 43.9%で最も多く、次いで「夫婦(子どもなし)」(34.4%)、「単身」(13.3%)、「親・子・孫(3世代)」(3.8%)の順となっています。



(4) 職業

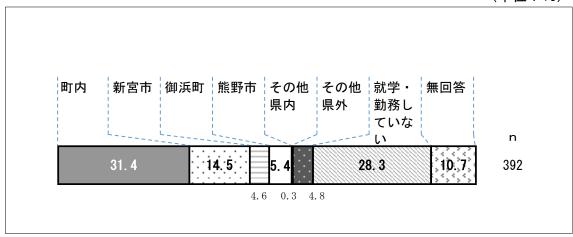
回答者の職業については、「無職」が 23.2%で最も多く、次いで「家事」(14.8%)、「公務員(公社を含む)」(9.9%)、「サービス業(公務を除く)」(9.7%)、「製造業」(6.6%)、「商業(小売、卸売、飲食)」(5.9%)、「建設業」(4.6%)「農林業(専業)」(2.8%)、「運輸・通信業」(2.0%)、「学生」(1.5%)の順となっています。

(単位:%)



(5) 就学先・勤務先

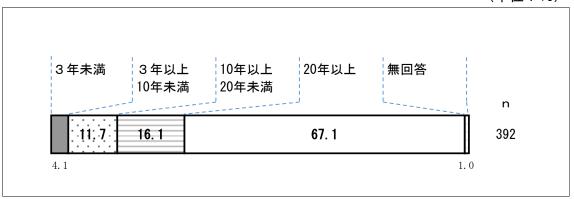
回答者の就学先・勤務先については、「町内」が31.4%で最も多く、次いで「就学・ 勤務していない」(28.3%)、「新宮市」(14.5%)、「熊野市」(5.4%)、「御浜町」(4.6%) の順となっています。



(6)居住年数

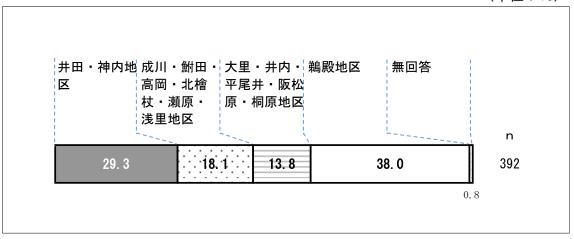
回答者の居住年数については、「20 年以上」が 67.1%で最も多く、次いで「10 年以上 20 年未満」(16.1%)、「3年以上 10 年未満」(11.7%)、「3年未満」(4.1%)の順となっています。

(単位:%)



(7)居住地区

回答者の居住地区については、「鵜殿地区」が 38.0%で最も多く、「井田・神内地区」 (29.3%)、「成川・鮒田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区」(18.1%)、「大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区」(13.8%) の順となっています。



Ⅱ 調査結果

1 まちへの愛着度について

問2 あなたは、紀宝町に対して「自分の町」としての愛着をどの程度感じていますか。

 \blacksquare

● "愛着を感じている"が 77.3%、一方、"愛着を感じていない"が 5.6%。

町への愛着度を探るため、「とても愛着を感じている」、「どちらかというと愛着を感じている」、「どちらともいえない」、「あまり愛着を感じていない」、「愛着を感じていない」の中から1つを選んでもらったところ、「どちらかというと愛着を感じている」と答えた人が45.2%と最も多く、これに「とても愛着を感じている」(32.1%)をあわせた77.3%の人が"愛着を感じている"という意向を示しています。一方、「あまり愛着を感じていない」(3.8%)及び「愛着を感じていない」(1.8%)と答えた"愛着を感じていない"という人の合計は5.6%にとどまっています。なお、「どちらともいえない」は16.1%でした。

これを属性別でみると、性別では、"愛着を感じている"率は男女に大きな違いなく 約80%でした。

年齢では、"愛着を感じている"率は80歳以上(92.3%)、30歳代(89.7%)が高くなっています。一方、50歳代(71.4%)、60歳代(71.9%)では比較的低くなっています。

職業では、農林業の"愛着を感じている"率は 90.9%と最も高くなっています。最 も低くなっているのが、運輸・通信業の 62.5%でした。

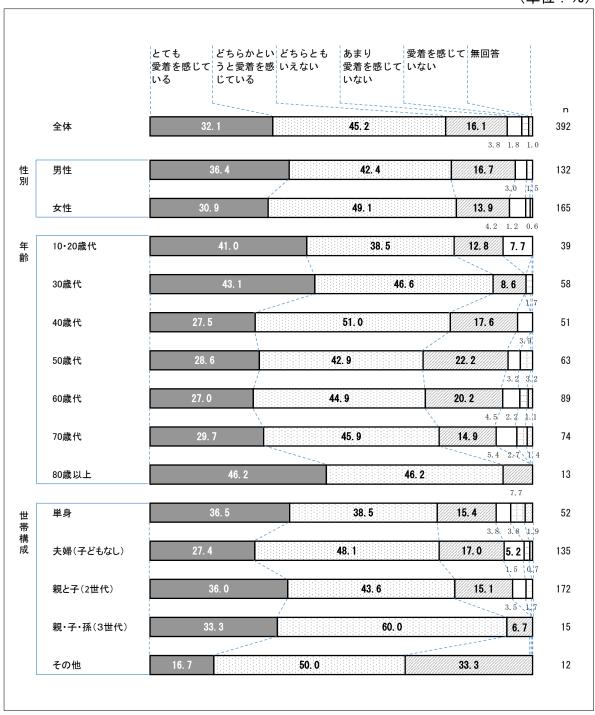
就学先・勤務先では、町内の"愛着を感じている"率は 85.4%であるのに対し、新宮市で就学・勤務している人の"愛着を感じている"率は 63.2%でした。

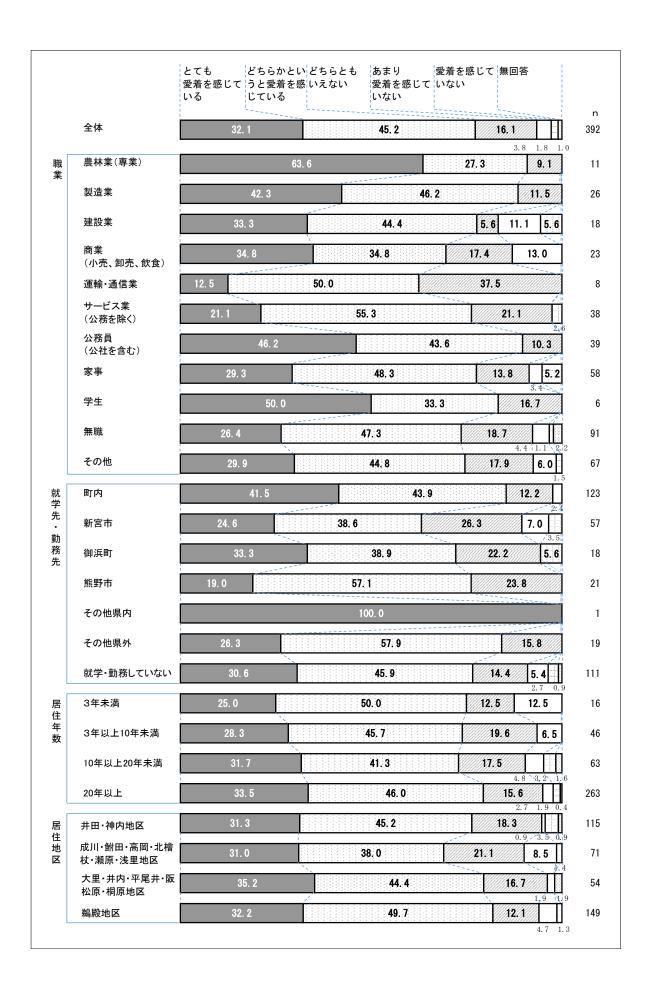
居住年数では、"愛着を感じている"率は、居住年数に関わらず概ね75%前後となっています。

居住地区では、"愛着を感じている"率は、鵜殿地区(81.9%)が最も高く、成川・鮒田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区(69.0%)が最も低くなっています。

[図表 1]

図表 1 町への愛着度について (全体・性別・年齢・職業・就学先・勤務先・居住年数・居住地区)





2 まちへの定住意向について

問3 あなたは、これからも紀宝町に住み続けたいと思いますか。

▼

● "住み続けたい"が 79.3%、一方、"住み続けたくない"が 4.1%。

今後の定住意向を探るため、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」の中から1つを選んでもらったところ、「住み続けたい」と答えた人が52.8%と最も多く、これに「どちらかといえば住み続けたい」(26.5%)をあわせた79.3%の人が"住み続けたい"という意向を示しています。一方、「どちらかといえば住みたくない」(2.6%)及び「住みたくない」(1.5%)と答えた"住み続けたくない"という人の合計は4.1%にとどまっています。なお、「どちらともいえない」は15.6%でした。

これを属性別でみると、性別では、"住み続けたい"率はどちらも80%を超えていますが、女性の方が若干"住み続けたい"率が高くなっています。

年齢では、"住み続けたい"率は加齢とともに上昇する傾向がみられ、80歳以上では92.3%にのぼります。なお、10・20歳代の"住み続けたい"率は66.7%と最も低くなっています。

職業では、農林業の"住み続けたい"率は90.9%と最も高くなっています。

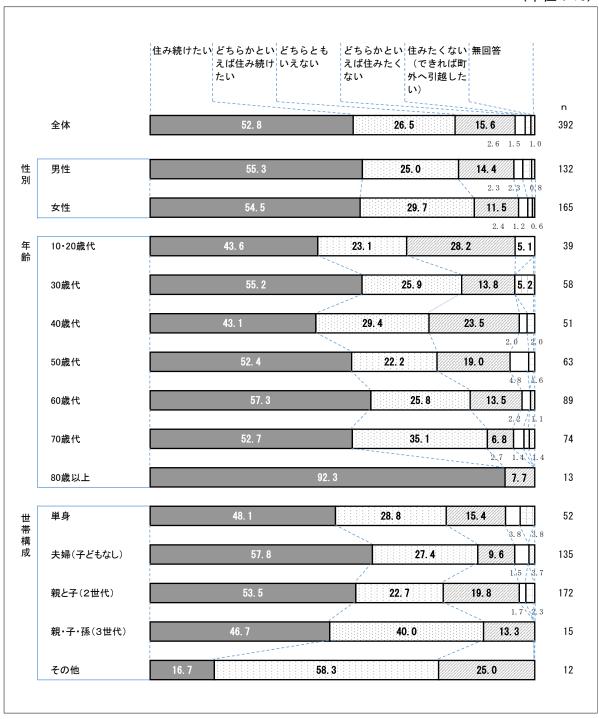
就学先・勤務先では、町内の"住み続けたい"率は82.1%であるのに対し、新宮市、 御浜町、熊野市の"住み続けたい"率は同率で66.7%でした。

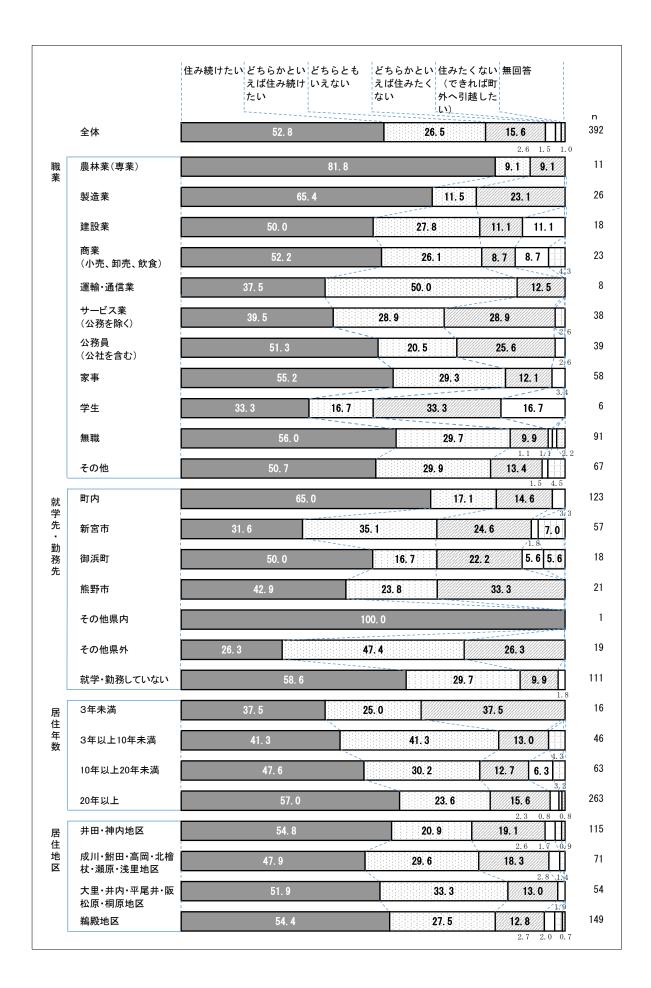
居住年数では、"住み続けたい"率は、3年以上10年未満(82.6%)で最も高く、3年未満(62.5%)で最も低くなっています。

居住地区では、"住み続けたい"率は、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区(85.2%) が最も高く、井田・神内地区(75.7%)が最も低くなっています。

[図表2]

図表 2 今後の定住意向について (全体・性別・年齢・職業・就学先・勤務先・居住年数・居住地区)





3 まちの魅力について

問4 あなたは、紀宝町のどのようなところに魅力を感じていますか。

 \blacksquare

● 「自然環境が豊かである」(59.2%)が第1位、次いで「ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている」(42.9%)の順。

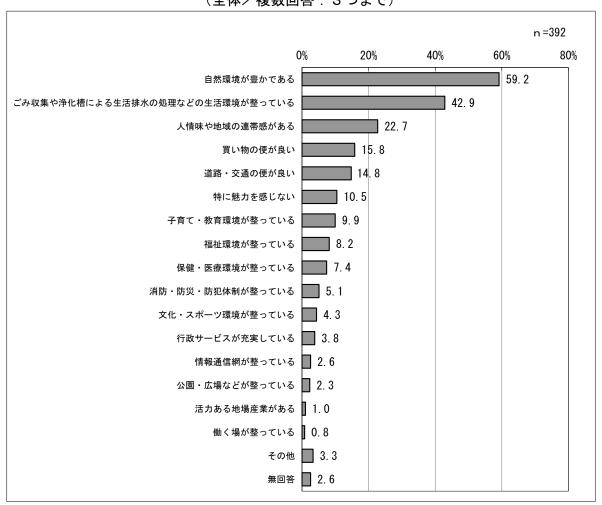
町のどのようなところに魅力を感じるかたずねたところ、「自然環境が豊かである」 (59.2%) が第1位、次いで「ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境 が整っている」(42.9%)、「人情味や地域の連帯感がある」(22.7%)、「買い物の便が良い」(15.8%)、「道路・交通の便が良い」(14.8%)、「特に魅力を感じない」(10.5%) などの順となっています。[図表3-1]

性別でみると、男女ともに第1位が「自然環境が豊かである」、第2位が「ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている」、第3位が「人情味や地域の連帯感がある」となっています。

年齢でみると、70歳代では「ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている」が第1位になりました。また、30歳代では第3位に「子育て・教育環境が整っている」、70歳代、80歳以上では「買い物の便が良い」が上位となっています。

地域別にみると、鵜殿地区では第1位が「ごみ収集や浄化槽による生活排水の処理などの生活環境が整っている」、第3位が「買い物の便が良い」となっています。また、成川・鮒田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区では第3位が「道路・交通の便が良い」となっています。[図表3-2]

図表 3 - 1 町の魅力について (全体/複数回答:3つまで)



図表3-2 町の魅力について

(全体・性別・年齢・居住地区/複数回答:3つまで)

(上位3位、単位:%)

		労1 片	笠 0 仕	(工匠の匠、平匠・707
		第1位	第2位	第3位
全	体	自然環境が豊かである	ごみ収集などの生活環境 が整っている	人情味や地域の連帯感が ある
		59. 2%	42.9%	22.7%
性		自然環境が豊かである	ごみ収集などの生活環境 が整っている	人情味や地域の連帯感が ある
別		60.6%	40.2%	21.2%
	 女性	自然環境が豊かである	ごみ収集などの生活環境 が整っている	人情味や地域の連帯感が ある
		63.0%	44. 2%	22.4%
年	10・20 歳代	自然環境が豊かである	人情味や地域の連帯感がある	ごみ収集などの生活環境 が整っている
齢		82.1%	30.8%	25.6%
	30 歳代	自然環境が豊かである	ごみ収集などの生活環境 が整っている	子育て・教育環境が整って いる
		74.1%	41.4%	32.8%
	40 歳代	自然環境が豊かである	ごみ収集などの生活環境 が整っている	人情味や地域の連帯感が ある
		62.7%	51.0%	17.6%
	50 歳代	自然環境が豊かである	ごみ収集などの生活環境 が整っている	人情味や地域の連帯感が ある
		54.0%	46.0%	27.0%
	60 歳代	自然環境が豊かである	ごみ収集などの生活環境 が整っている	人情味や地域の連帯感が ある
		56. 2%	38.2%	24.7%
	70 歳代	ごみ収集などの生活環境 が整っている	自然環境が豊かである	買い物の便が良い
		54. 1%	40.5%	24.3%
	80 歳以上	自然環境が豊かである		整っている/福祉環境が整っっている/買い物の便が良い/ る
		69. 2%		23.1%
居住地区	井田・神内地区	自然環境が豊かである	ごみ収集などの生活環境 が整っている	人情味や地域の連帯感が ある
地区		68.7%	40.0%	28.7%
<u> </u>	成川・鮒田・高 岡・北檜杖・瀬	自然環境が豊かである	ごみ収集などの生活環境 が整っている	道路・交通の便が良い
	原・浅里地区	66. 2%	26.8%	25.4%
	大里・井内・平 尾井・阪松原・	自然環境が豊かである	ごみ収集などの生活環境 が整っている	人情味や地域の連帯感がある
	桐原地区	81.5%	31.5%	29.6%
	 鵜殿地区	ごみ収集などの生活環境 が整っている	自然環境が豊かである	買い物の便が良い
		<u>が歪っている</u> 57.0%	41.6%	22. 1%
		J. 10/0	11. 0/0	22. 1/0

4 町政に対する現状評価と今後の期待について

(1) まちの各環境に関する満足度

問3 紀宝町の現在の状況(満足度)と今後のまちづくりにおける重要度についておたずね します。(1)紀宝町の今の状況についてどう思いますか。

 \blacksquare

- 満足度が最も高い項目は「ごみの分別収集や資源回収が進められている」。次いで「健康診断や保健指導の体制が充実している」、「田園風景など景観が良い」の順。
- 満足度が最も低い項目は「働く場が確保されている」。次いで「衣料品や電 化製品などの買い物がしやすい」、「新規雇用・産業の創出」の順。

本町の各環境に関する町民の評価について、満足度をたずねた72の設問項目の傾向を、"満足"(「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の合計)、"不満"(「どちらかといえば不満である」及び「不満である」の合計)にまとめ、その比率でみていくと、"満足"と回答した率は、「ごみの分別収集や資源回収が進められている」(90.3%)が最も高く、次いで「健康診断や保健指導の体制が充実している」(82.4%)、「田園風景など景観が良い」(82.1%)、「自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全」(79.8%)、「消防・救急体制が整っている」(77.6%)、「近隣の人たちと仲の良い生活ができている」(77.6%)などの順となっています。一方、"不満"と回答した率は、「働く場が確保されている」(73.5%)が最も高く、「衣料品や電化製品などの買い物がしやすい」(73.5%)、「新規雇用・産業の創出」(68.4%)、「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」(59.9%)、「ゆったりと過ごせる公園などがある」(57.1%)などの順となっています。[図表4-1~2]

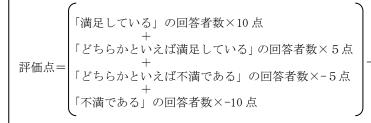
さらに、加重平均値 [後述参照] による評価点(満足度:最高点 10 点、最低点-10 点) による分析を行いました。

この結果、評価点の最も高い項目は「ごみの分別収集や資源回収が進められている」(6.57点)となっており、次いで第2位が「田園風景など景観が良い」(5.32点)、第3位が「自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全」(5.07点)と続き、以下、「健康診断や保健指導の体制が充実している」(4.83点)、「近隣の人たちと仲の良い生活ができている」(4.35点)などの順となっています。一方、評価点の低い方からみると、「働く場が確保されている」(-4.97点)が最も低く、次いで第2位が「衣料品や電化製品などの買い物がしやすい」(-4.44点)、第3位が「新規雇用・産業の創出」(-3.90点)と続き、以下、「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」(-2.51点)、「娯楽やレジャーの環境が整っている」(-2.34点)などとなっています。また、評価がプラスの項目は49項目、マイナスの項目は23項目となっており、"満足"が"不満"を上回っています。[図表4-3]

平成23年の調査における同様の項目と比べると、「快適性」では自然環境の項目で満足度が上がり、景観や土地利用、公園・緑地等の整備についての満足度が下がっています。「安全性」では消防・救急体制以外の項目で満足度が下がっています。「産業・観光」では農林水産業の項目で重要度が下がっています。「教育・文化」では学習環境や生涯学習等全体的に満足度が下がっています。「行財政」では広聴や男女共同参画・人権の項目について満足度が下がっています。「図表4-4]

※加重平均値の算出方法※

4段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。



「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の回答者数

この算出方法により、評価点(満足度)は 10 点 \sim -10 点の間に分布し、中間点の 0 点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

図表4-1 まちの各環境に関する満足度(全体)

		20 MB		立. 70/
-		設問	満足度	不満度
	1-①	鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	33.7	
1 利	1-2	道路が便利である	61.0	
	1-3	食品や日用品の買い物がしやすい	46.2	48.2
便	1-4	衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	21.7	271.9
性	1-5	働く場が確保されている	17.1	173.5
	1-6	情報基盤(インターネット環境など)が充実している	52.3	36.0
	2-①	自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全	479.8	14.8
	2-2	田園風景など景観が良い	382.1	12.5
	2-3	海岸・河川環境の整備と保全	52.0	42.3
2	2-4	住宅や宅地に恵まれている	57.9	36.7
	2-5	身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	38.8	⊕55.1
快	2-6	ゆったりと過ごせる公園などがある	36.7	₆ 57.1
適性	2-7	上水道の整備が進んでいる	®76.0	18.4
1 1	2-8	合併処理浄化槽などの整備が進んでいる	_® 71.7	23.0
	2-9	ごみの分別収集や資源回収が進められている	190.3	6.1
	2-10	騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	_® 71.7	23.7
	2-11	土地利用や市街地整備が適切にされている	43.9	43.9
	3-①	歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している	51.3	43.1
3	3-2	消防・救急体制が整っている	₅ 77.6	17.9
虚	3-3	地震・台風等への防災対策が整っている	49.7	44.4
安全性	3-4	沿岸整備など、津波への防災対策が整っている	38.3	®55.4
性	3-5	街路灯など、防犯の面で安心である	43.4	50.8
	3-6	消費者への振り込み詐欺や悪徳商法に対する相談体制が整っている	53.6	36.5
	4-1	農業(担い手の育成、農地の整備など)の振興	34.9	52.6
4	4-2	林業(担い手の育成、共生林等の保全など)の振興	31.4	®55.4
	4-3	水産業(担い手育成、漁場の整備など)の振興	36.2	50.0
産業	4-4	商業(商業地域の形成や商業者への支援)の振興	32.4	53.3
*	4-5	工業(既存企業の育成・支援)の振興や企業誘致	31.6	54.3
観	4-6	新規雇用・産業の創出	20.2	368.4
光	4-7	観光資源の発掘やPR	32.7	©56.4
	4-8	特産品の開発や普及活動	36.2	53.1
	5-①	健康づくりに取り組む機会が充実している	⊕77.3	17.6
5	5-2	健康診断や保健指導の体制が充実している	282.4	12.8
_	5-3	病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	44.6	51.8
保	5-4	高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	59.4	34.9
健	5-5	障がい者(児)のための施設・福祉サービスが充実している	46.7	43.9
福	5-6	高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	52.6	39.8
祉	5-7	障がい者(児)が生きがいを持てる機会が充実している	43.9	44.9
	5-8	国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	61.7	28.8
	6-1	子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている	63.5	24.2
	6-2	保育料・教育費などの負担軽減がされている	54.6	29.1
	6-3	住民が子どもの心を育む地域づくりをしている	46.7	37.8
6	6-4	保育園、学童保育など、保育体制が充実している	61.2	25.0
子	6-5	男性も子育てに参加できる環境づくりができている	32.9	49.5
育	6-6	子どもが楽しく過ごせるまちづくりをしている	49.5	36.0
子育て支援	6-7	子ども同士、親同士のネットワークづくりが充実している	44.1	39.0
援	6-8	子育て相談・情報提供が充実している	54.1	29.6
	6-9	ひとり親家庭への福祉サービスが充実している	53.8	30.4
	6-10	子どもの人権・権利を守る意識の啓発活動が充実している	52.8	31.1
	6-11	医療費の無料化が充実している	55.1	29.6

	設問	満足度	不満度
	7-① 小・中学校の学習活動が充実し、成果があがっている	51.0	32.4
	7-② 小・中学校の施設・設備が充実している	60.5	24.0
7	7-③ 誰もが学べる生涯学習の機会が充実している	52.3	34.4
教	7-④ スポーツ・レクリエーション施設が整っている	51.3	36.5
教育	7-⑤ 文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	50.0	37.0
文	7-⑥ 文化財の保存と活用ができている	52.0	32.7
化	7-⑦ 娯楽やレジャーの環境が整っている	29.8	₆ 56.4
	7-⑧ 就学相談・教育相談等が充実している	44.4	37.8
	7-⑨ 青少年の健全育成を促す地域づくりができている	48.5	35.2
	8-① 近隣の人たちと仲の良い生活ができている	₅ 77.6	17.3
8	8-② 公民館活動や区・組の活動などが活発である	67.3	23.0
Шh	8-③ 地域活動への住民参加の機会がたくさんある	63.8	25.8
地域生活	8-④ 住民団体や NPO などの育成・支援が充実している	46.4	38.3
生	8-⑤ ボランティア活動が活発である	53.6	32.9
活	8-⑥ 祭りやイベントが充実している	66.3	25.5
	8-⑦ 国内・国際交流が盛んである	35.2	49.7
	9-① 町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	70.9	21.7
9	9-② 町民が意見や要望を言える機会がある	44.1	46.9
行	9-③ 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている	972.2	22.2
l J 財	9-④ 行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政) 運営	57.9	29.8
政	9-⑤ 町では、近隣市町村と連携した広域行政ができている	54.6	32.4
	9-⑥ 男女共同参画や人権尊重の地域づくりができている	52.6	33.7

図表4-2 まちの各環境に関する満足度(全体)

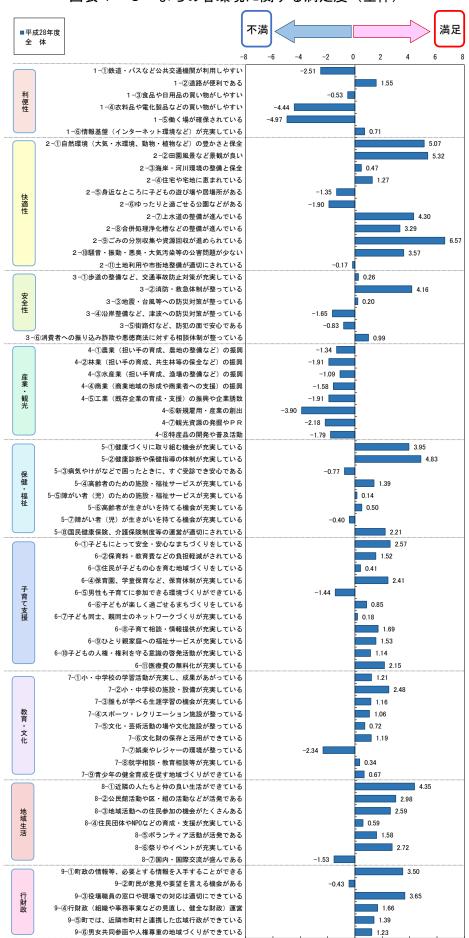
(平成 28 年/上位・下位 10 項目)

	満足度	不満度
第1位	2-⑨ ごみの分別収集や資源回収が進められている	1-⑤ 働く場が確保されている
第2位	5-② 健康診断や保健指導の体制が充実している	1-④ 衣料品や電化製品などの買い物がしやすい
第3位	2-② 田園風景など景観が良い	4-⑥ 新規雇用・産業の創出
第4位	2-① 自然環境 (大気・水環境、動物・植物など) の豊かさと保全	1-① 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい
第5位	3-② 消防・救急体制が整っている/8-① 近	2-⑥ ゆったりと過ごせる公園などがある
第6位	隣の人たちと仲の良い生活ができている	4-⑦ 観光資源の発掘やPR/7-⑦ 娯楽やレ
第7位	5-① 健康づくりに取り組む機会が充実している	ジャーの環境が整っている
第8位	2-⑦ 上水道の整備が進んでいる	3-④ 沿岸整備など、津波への防災対策が整っ
第9位	9-③ 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている	ている/4-② 林業(担い手の育成、共生林等 の保全など)の振興
第 10 位	2-⑧ 合併処理浄化槽などの整備が進んでいる /2-⑩ 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害 問題が少ない	2-⑤ 身近なところに子どもの遊び場や居場所がある

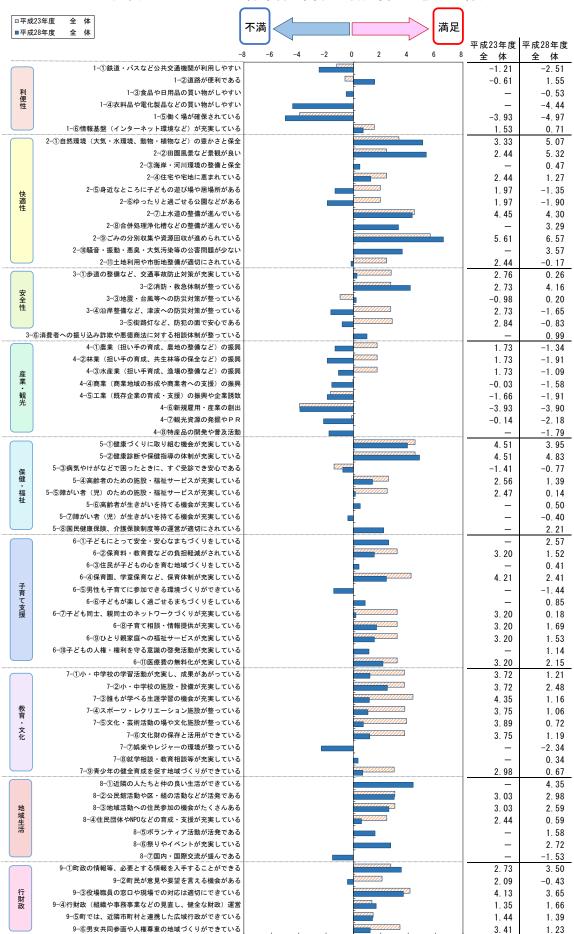
(平成 23 年/上位・下位 10 項目)

		満足度		不満度
第1位	17 3	ごみの収集や処理の状況	31	雇用・就業の場の確保対策
第2位	18	資源のリサイクルへの取り組み	6	鉄道やバスなどの公共交通機関
第3位	13 4	各種検診など健康づくりの推進	12	地域医療体制の充実/
第4位	3 _	上水道の整備	30	工業の振興 (企業誘致など)
第5位	23 <u>/</u>	生涯学習活動の推進	11	地震や台風などの災害対策の充実
第6位	20 ½	 幼稚園など幼児教育の充実	1	幹線道路の整備 (国道・県道など)
第7位	33 ء	ひ場の窓口サービスの充実	2	地域の生活道路の整備 (町道など)
第8位	24	人権教育の充実	32	観光・交流の振興
第9位	21	学校教育の充実	29	商業の振興
第 10 位	26 🗵	文化・芸術活動の振興	37	近隣市町村との連携強化

図表4-3 まちの各環境に関する満足度(全体)



図表4-4 まちの各環境に関する満足度の比較(全体)



紀宝町総合計画基本計画づくりのためのアンケー	
平成28年度	平成23年度
1 利便性 ①鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	1-6 鉄道やバスなどの公共交通機関
	1-1 幹線道路の整備(国道・県道など)
②道路が便利である	1-2 地域の生活道路の整備(町道など)
③食品や日用品の買い物がしやすい	
④衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	
⑤働く場が確保されている	6-31 雇用・就業の場の確保対策
⑥情報基盤(インターネット環境など)が充実している	1-7 ケーブルテレビなど情報化の推進
2 快適性 ①自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全	4-19 海・山・川などの自然環境の保全
②田園風景など景観が良い	1-5 まち並みや景観の整備
③海岸・河川環境の整備と保全	「こので、これのの主義
④住宅や宅地に恵まれている	1-5 まち並みや景観の整備
⑤身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	1-4 公園や緑地の整備
⑥ゆったりと過ごせる公園などがある	1-4 公園や緑地の整備
⑦上水道の整備が進んでいる ◎ ② 2 × 2 × 2 × 2 × 2 × 2 × 2 × 2 × 2 × 2	1-3 上水道の整備
⑧合併処理浄化槽などの整備が進んでいる	4-17 ごよの収集が加速の出行
⑨ごみの分別収集や資源回収が進められている	4-17 ごみの収集や処理の状況 4-18 資源のリサイクルへの取り組み
 ⑩騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	T TO RIMODY TO TO TO THE TOTAL THE T
⑪土地利用や市街地整備が適切にされている	1-5 まち並みや景観の整備
3 安全性	
①歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している	2-10 交通安全対策の充実
②消防・救急体制が整っている	2-8 消防・防災体制の充実
③地震・台風等への防災対策が整っている	2-11 地震や台風などの災害対策の充実
④沿岸整備など、津波への防災対策が整っている ⑤法探げなど、防犯の南で安心である	2-8 消防・防災体制の充実
⑤街路灯など、防犯の面で安心である ⑥消費者への振り込み詐欺や悪徳商法に対する相談体制が整っている	と 3 別が対象の方
4 産業・観光	
①農業(担い手の育成、農地の整備など)の振興	6-28 農林水産業の振興
②林業(担い手の育成、共生林等の保全など)の振興	6-28 農林水産業の振興
③水産業(担い手育成、漁場の整備など)の振興	6-28 農林水産業の振興
④商業(商業地域の形成や商業者への支援)の振興	6-29 商業の振興
⑤工業(既存企業の育成・支援)の振興や企業誘致	6-30 工業の振興(企業誘致など)
⑥新規雇用・産業の創出 ②割以終海の発展やDD	6-31 雇用・就業の場の確保対策
⑦観光資源の発掘やPR ⑧特産品の開発や普及活動	6-32 観光・交流の振興
5 保健・福祉	
①健康づくりに取り組む機会が充実している	3-13 各種検診など健康づくりの推進
②健康診断や保健指導の体制が充実している	3-13 各種検診など健康づくりの推進
③病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	3-12 地域医療体制の充実
④高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	3-15 高齢者福祉対策の充実
⑤障がい者(児)のための施設・福祉サービスが充実している	3-16 障がい者(児)福祉対策の充実
⑥高齢者が生きがいを持てる機会が充実している⑦障がい者(児)が生きがいを持てる機会が充実している	
③国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	
6 子育て支援	
①子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている	
②保育料・教育費などの負担軽減がされている	3-14 子育て支援対策の充実
③住民が子どもの心を育む地域づくりをしている	
④保育園、学童保育など、保育体制が充実している	5-20 幼稚園など幼児教育の充実
⑤男性も子育てに参加できる環境づくりができている ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
⑥子どもが楽しく過ごせるまちづくりをしている ⑦子ども同士、親同士のネットワークづくりが充実している	3-14 子育て支援対策の充実
◎子育て相談・情報提供が充実している	3-14 子育で支援対策の充実
◎ひとり親家庭への福祉サービスが充実している	3-14 子育て支援対策の充実
⑩子どもの人権・権利を守る意識の啓発活動が充実している	
⑪医療費の無料化が充実している	3-14 子育て支援対策の充実
7 教育•文化	
①小・中学校の学習活動が充実し、成果があがっている	5-21 学校教育の充実 5-24 学校教育の表生 5-24 学校教育教育の表生 5-24 学校教育の表生 5-24 学校教育
②小・中学校の施設・設備が充実している ③誰もが学べる生涯学習の機会が充実している	5-21 学校教育の充実 5-23 生涯学羽活動の推進
②誰もが字へる生涯字首の機会が充実している④スポーツ・レクリエーション施設が整っている	5-23 生涯学習活動の推進 5-25 スポーツ活動の支援や関連施設の整備
⑤文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	5-26 文化・芸術活動の振興
⑥文化財の保存と活用ができている	5-27 文化財の保存及び活用
⑦娯楽やレジャーの環境が整っている	
⑧就学相談・教育相談等が充実している	
⑨青少年の健全育成を促す地域づくりができている	5-22 青少年の健全育成
8 地域生活	
①近隣の人たちと仲の良い生活ができている ②小尺的注動な反。49の注動などが注発である	0_40 地域のコンューニ、洋熱への主体
②公民館活動や区・組の活動などが活発である ③地域活動への住民参加の機会がたくさんある	8-40 地域のコミュニティ活動への支援
④住民団体やNPOなどの育成・支援が充実している	8-39 住民団体やNPOなどの育成・支援
⑤ボランティア活動が活発である	ENGLISH XIX
⑥祭りやイベントが充実している	
⑦国内・国際交流が盛んである	
9 行財政	
①町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	7-34 町政に関する情報提供や情報公開
②町民が意見や要望を言える機会がある	7-35 町政への住民参画の推進
③役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている ④行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政)運営	7-33 役場の窓口サービスの充実 7-36 健全な財政運営や行政改革の推進
⑤町では、近隣市町村と連携した広域行政ができている	7-37 近隣市町村との連携強化
	5-24 人権教育の充実
⑥男女共同参画や人権尊重の地域づくりができている	8-38 男女共同参画の推進
	•

■また、地区別の満足度の項目をまとめると、以下のとおりとなります。

満足度の上位3項目について全体と各地区を見ると、第1位には「ごみの分別収集や 資源回収が進められている」が多いですが、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区で は「田園風景など景観が良い」があげられています。また、第2位、第3位には「田園 風景など景観が良い」、「自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全」 のほかに、成川・鮒田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区と鵜殿地区で「健康診断や保健 指導の体制が充実している」があげられています。

満足度の下位3項目について全体と各地区を見ると、第1位には「働く場が確保されている」が多いですが、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区では「衣料品や電化製品などの買い物がしやすい」があげられています。また、第2位、第3位には「衣料品や電化製品などの買い物がしやすい」、「新規雇用・産業の創出」のほかに、井田・神内地区で「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」があげられています。

[図表4-5]

図表 4 - 5 まちの各環境に関する満足度 (全体・居住地区)

【上位3項目】 (単位:評価点)

	第 1 位	第2位	第3位
全体	2-⑨ ごみの分別収集や資源回収が進められている	2-② 田園風景など景観が 良い	2-① 自然環境(大気・水 環境、動物・植物など)の 豊かさと保全
	6. 57	5. 32	5. 07
井田•神内地区	2-⑨ ごみの分別収集や資源回収が進められている	2-② 田園風景など景観が 良い	2-① 自然環境(大気・水 環境、動物・植物など)の 豊かさと保全
	6. 38	6. 19	6. 04
成川・鮒田・高 岡・北檜杖・瀬	2-⑨ ごみの分別収集や資 源回収が進められている	2-② 田園風景など景観が 良い	5-② 健康診断や保健指導 の体制が充実している
原・浅里地区	6. 82	4. 92	4. 69
大里・井内・平 尾井・阪松原・ 桐原地区	2-② 田園風景など景観が 良い	2-⑨ ごみの分別収集や資源回収が進められている	2-① 自然環境(大気・水 環境、動物・植物など)の 豊かさと保全
們尿地区	7. 21	6. 94	5. 83
鵜殿地区	2-⑨ ごみの分別収集や資源回収が進められている	5-② 健康診断や保健指導 の体制が充実している	2-① 自然環境(大気・水 環境、動物・植物など)の 豊かさと保全
	6. 58	4. 79	4. 44

【下位3項目】 (単位:評価点)

	1 1 1 2		
	第1位	第2位	第3位
全体	1-⑤ 働く場が確保されて いる	1-④ 衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	4-⑥ 新規雇用・産業の創 出
王1本	-4. 97	-4. 44	-3.90
井田·神内地区	1-⑤ 働く場が確保されて いる	1-① 鉄道・バスなど公共 交通機関が利用しやすい	4-⑥ 新規雇用・産業の創 出
7 m 17775E	-4. 90	-4. 12	-4. 12
成川・鮒田・高 岡・北檜杖・瀬	1-⑤ 働く場が確保されて いる	1-④ 衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	4-⑥ 新規雇用・産業の創 出
原・浅里地区	-6. 48	-5. 24	-5. 17
大里・井内・平尾井・阪松原・	1-⑤ 働く場が確保されて いる	4-⑥ 新規雇用・産業の創 出	1-④ 衣料品や電化製品などの買い物がしやすい
桐原地区	-5. 10	-3. 30	-3.04
鵜殿地区	1-④ 衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	1-⑤ 働く場が確保されて いる	4-⑥ 新規雇用・産業の創 出
	-5. 18	-4. 28	-3. 37

(2) まちの各環境に関する重要度

問3 町では下記にあげる様々な施策に取り組んでいますが、あなたは、(2)今後どの程度重視(力を入れるべき)していますか。

 \blacksquare

● 重要度が最も高い項目は「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」。次いで「地震・台風等への防災対策が整っている」、「歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している」などの順。

本町の各環境に関する町民の重要度について、重要度をたずねた72の設問項目の傾向を、"重要である"(「重視している」及び「やや重視している」の合計)、"重要でない"(「あまり重視していない」及び「重視していない」の合計)にまとめ、その比率でみていくと、"重要である"の比率が高い項目としては、「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」(91.1%)が第1位にあげられ、次いで第2位が「地震・台風等への防災対策が整っている」(88.0%)、第3位が同率で「歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している」「消防・救急体制が整っている」「沿岸整備など、津波への防災対策が整っている」(87.5%)と続き、以下、「街路灯など、防犯の面で安心である」(87.2%)、「高齢者のための施設・福祉サービスが充実している」(86.7%)、「役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている」(86.7%) などの順となっています。

[図表5-1~2]

さらに、加重平均値 [後述参照] による評価点(重要度:最高点 10 点、最低点-10 点)による結果をみると、重要度の最も高い項目は、「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」(8.48点)が第1位にあげられ、次いで「地震・台風等への防災対策が整っている」(8.36点)、「沿岸整備など、津波への防災対策が整っている」(8.26点)と続き、以下、「子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている」(7.89点)、「消防・救急体制が整っている」(7.87点)、「働く場が確保されている」(7.75点)、「街路灯など、防犯の面で安心である」(7.67点)の順となっています。

平成23年の調査における同様の項目と比べると、「快適性」では景観や土地利用、公園・緑地等の整備についての重要度が上がっています。「教育・文化」では文化・芸術活動や生涯学習、スポーツ等の活動についての重要度が上がっています。「地域生活」では地域コミュニティや住民活動への重要度が上がっています。「図表5-3~4]

※加重平均値の算出方法※

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(重要度)を算出する。

「重視している」の回答者数×10 点 + 「やや重視している」の回答者数×5点 + 「あまり重視していない」の回答者数×-5点 + 「重視していない」の回答者数×-10点

「重視している」、「やや重視し ている」、「あまり重視していな い」、「重視していない」の回答 者数

図表5-1 まちの各環境に関する重要度(全体)

			(単位:%
		設問	重要度
	1-1	鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	79.1
1 利 便 性	1-2	道路が便利である	85.5
	1-3	食品や日用品の買い物がしやすい	82.7
	1-4	衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	67.3
	1-⑤	働く場が確保されている	84.7
	1-6	情報基盤(インターネット環境など)が充実している	75.0
	2-1	自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全	85.2
	2-2	田園風景など景観が良い	78.8
	2-3	海岸・河川環境の整備と保全	84.9
	2-4	住宅や宅地に恵まれている	83.2
2	2-5	身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	84.4
快	2-6	ゆったりと過ごせる公園などがある	81.1
適性	2-7	上水道の整備が進んでいる	84.4
性	2-8	合併処理浄化槽などの整備が進んでいる	83.2
	2-9	ごみの分別収集や資源回収が進められている	85.7
	2-10	騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	®86.0
	2-11	土地利用や市街地整備が適切にされている	77.3
	3-(1)	歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している	387.5
3	3-2	消防・救急体制が整っている	387.5
	3-3	地震・台風等への防災対策が整っている	288.0
安全性	3-4	沿岸整備など、津波への防災対策が整っている	387.5
至性	3-5	街路灯など、防犯の面で安心である	687.2
1_1_	3-6	消費者への振り込み詐欺や悪徳商法に対する相談体制が整っている	80.9
	4-1	農業(担い手の育成、農地の整備など)の振興	77.0
	4-2	林業(担い手の育成、共生林等の保全など)の振興	75.3
4	4-3	水産業(担い手育成、漁場の整備など)の振興	76.8
産	4-4	商業(商業地域の形成や商業者への支援)の振興	77.6
業	4-5	工業(既存企業の育成・支援)の振興や企業誘致	78.1
観	4-6	新規雇用・産業の創出	81.1
光	4-7	観光資源の発掘やPR	78.3
	4-(1)		
	5-1	特産品の開発や普及活動	78.8
		健康づくりに取り組む機会が充実している	83.7
5	5-2	健康診断や保健指導の体制が充実している	85.5
保	5-3	病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	<u> </u>
保健	5-4	高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	₹86.7
一	5-5	障がい者(児)のための施設・福祉サービスが充実している 京教者が失さずいたませてスポウムである。	85.2
福祉	5-6	高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	82.9
,	5-7	障がい者(児)が生きがいを持てる機会が充実している	84.4
	5-8	国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	986.2
G	6-(1)	子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている	83.9
	6-2	保育料・教育費などの負担軽減がされている	79.6
	6-3	住民が子どもの心を育む地域づくりをしている	80.1
6	6-4	保育園、学童保育など、保育体制が充実している	81.4
子	6-5	男性も子育てに参加できる環境づくりができている	75.3
子育て支援	6-6	子どもが楽しく過ごせるまちづくりをしている	79.6
	6-7	子ども同士、親同士のネットワークづくりが充実している	77.0
	6-8	子育て相談・情報提供が充実している	77.6
	6-9	ひとり親家庭への福祉サービスが充実している	80.4
	6-10	子どもの人権・権利を守る意識の啓発活動が充実している	77.8
	6-11	医療費の無料化が充実している	79.6

	設問	重要度
	7-① 小・中学校の学習活動が充実し、成果があがっている	78.1
7	7-② 小・中学校の施設・設備が充実している	80.4
	7-③ 誰もが学べる生涯学習の機会が充実している	79.1
教	7-④ スポーツ・レクリエーション施設が整っている	77.8
教育	7-⑤ 文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	75.8
文	7-⑥ 文化財の保存と活用ができている	73.7
化	7-⑦ 娯楽やレジャーの環境が整っている	70.7
	7-⑧ 就学相談・教育相談等が充実している	77.0
	7-⑨ 青少年の健全育成を促す地域づくりができている	78.1
	8-① 近隣の人たちと仲の良い生活ができている	85.5
8	8-② 公民館活動や区・組の活動などが活発である	76.3
ТГР	8-③ 地域活動への住民参加の機会がたくさんある	74.7
地域生活	8-④ 住民団体や NPO などの育成・支援が充実している	67.9
生	8-⑤ ボランティア活動が活発である	73.2
冶	8-⑥ 祭りやイベントが充実している	73.5
	8-⑦ 国内・国際交流が盛んである	61.0
	9-① 町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	83.4
9	9-② 町民が意見や要望を言える機会がある	82.4
行	9-③ 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている	₹86.7
財	9-④ 行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政)運営	83.7
政	9-⑤ 町では、近隣市町村と連携した広域行政ができている	82.1
	9-⑥ 男女共同参画や人権尊重の地域づくりができている	78.1

図表5-2 まちの各環境に関する重要度(全体)

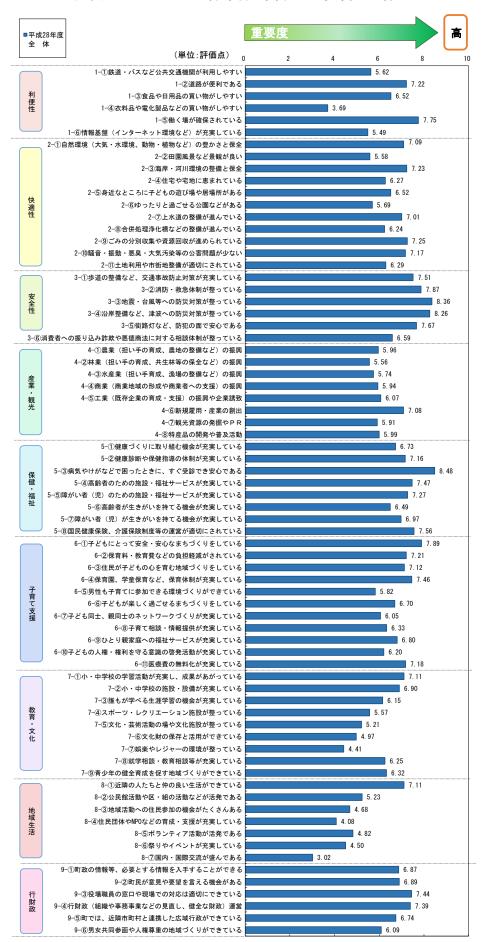
(平成 28 年/上位 10 項目)

	重要度	
第1位	5-③ 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	
第2位	-③ 地震・台風等への防災対策が整っている	
	3-① 歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している	
第3位	3-② 消防・救急体制が整っている	
	3-④ 沿岸整備など、津波への防災対策が整っている	
第6位	3-⑤ 街路灯など、防犯の面で安心である	
第7位 第7位		
舟 (1 位	9-③ 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている	
第9位	5-⑧ 国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	
第 10 位	2-⑩ 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	

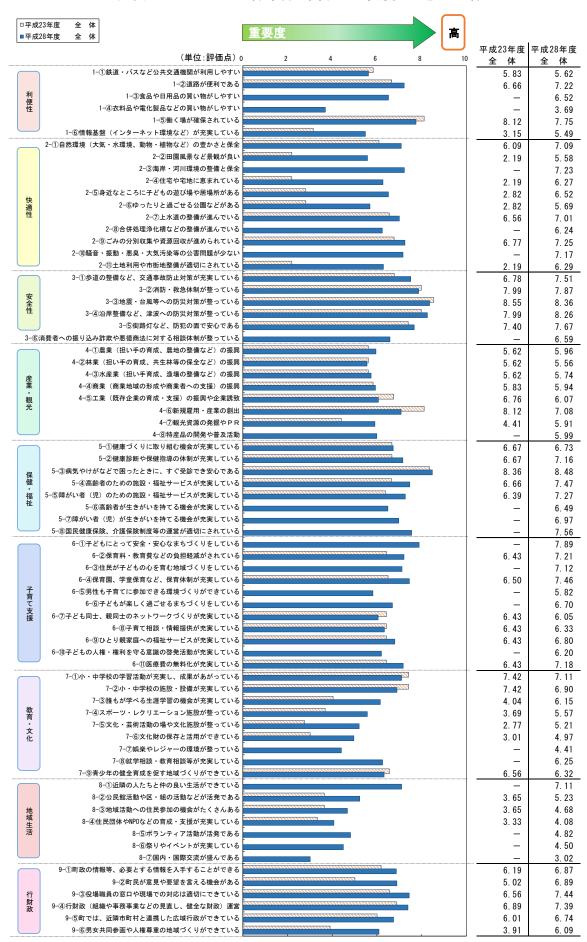
(平成 23 年/上位 10 項目)

		重要度
第1位	11	地震や台風などの災害対策の充実
第2位	12	地域医療体制の充実
第3位	17	ごみの収集や処理の状況
第4位	8	消防・防災体制の充実
第5位	9	防犯対策の充実
24 O. IT	31	雇用・就業の場の確保対策
第7位	13	各種検診など健康づくりの推進
界 / 124	18	資源のリサイクルへの取り組み
第9位	21	学校教育の充実
第 10 位	10	交通安全対策の充実

図表5-3 まちの各環境に関する重要度(全体)



図表5-4 まちの各環境に関する重要度の比較(全体)



紀宝町総合計画基本計画づくりのためのアンケー	
平成28年度 1 利便性	平成23年度
①鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	1-6 鉄道やバスなどの公共交通機関
②道路が便利である	1-1 幹線道路の整備(国道・県道など)
	1-2 地域の生活道路の整備(町道など)
③食品や日用品の買い物がしやすい	
④衣料品や電化製品などの買い物がしやすい ⑥風と埋が球場されている	6-31 雇用・就業の場の確保対策
⑤働く場が確保されている ⑥情報基盤(インターネット環境など)が充実している	1-7 ケーブルテレビなど情報化の推進
2 快適性	T T J J J J J C G C IN THI IN STEEL
①自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全	4-19 海・山・川などの自然環境の保全
②田園風景など景観が良い	1-5 まち並みや景観の整備
③海岸・河川環境の整備と保全	
④住宅や宅地に恵まれている ⑤身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	1-5 まち並みや景観の整備
⑤ 身近なころにすこもの遊び場や店場所がある⑥ ゆったりと過ごせる公園などがある	1-4 公園や緑地の整備
⑦上水道の整備が進んでいる	1-3 上水道の整備
⑧合併処理浄化槽などの整備が進んでいる	
②ごみの分別収集や資源回収が進められている	4-17 ごみの収集や処理の状況
	4-18 資源のリサイクルへの取り組み
⑩騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない ・ 大気汚染等の公害問題が少ない	4. こ オセゼン い見知の散出
①土地利用や市街地整備が適切にされている 3 安全性	1-5 まち並みや景観の整備
①歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している	2-10 交通安全対策の充実
②消防・救急体制が整っている	2-8 消防・防災体制の充実
③地震・台風等への防災対策が整っている	2-11 地震や台風などの災害対策の充実
④沿岸整備など、津波への防災対策が整っている	2-8 消防・防災体制の充実
⑤街路灯など、防犯の面で安心である	2-9 防犯対策の充実
⑥消費者への振り込み詐欺や悪徳商法に対する相談体制が整っている 4 産業・観光	
4 産業・観光 ①農業(担い手の育成、農地の整備など)の振興	6-28 農林水産業の振興
②林業(担い手の育成、共生林等の保全など)の振興	6-28 農林水産業の振興
③水産業(担い手育成、漁場の整備など)の振興	6-28 農林水産業の振興
④商業(商業地域の形成や商業者への支援)の振興	6-29 商業の振興
⑤工業(既存企業の育成・支援)の振興や企業誘致	6-30 工業の振興(企業誘致など)
⑥新規雇用・産業の創出	6-31 雇用・就業の場の確保対策
⑦観光資源の発掘やPR	6-32 観光・交流の振興
8 特産品の開発や普及活動 5 保健・福祉	
①健康づくりに取り組む機会が充実している	3-13 各種検診など健康づくりの推進
②健康診断や保健指導の体制が充実している	3-13 各種検診など健康づくりの推進
③病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	3-12 地域医療体制の充実
④高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	3-15 高齢者福祉対策の充実
⑤障がい者(児)のための施設・福祉サービスが充実している	3-16 障がい者(児)福祉対策の充実
⑥高齢者が生きがいを持てる機会が充実している ⑦障がい者(児)が生きがいを持てる機会が充実している	
⑥国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	
6 子育て支援	
①子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている	
②保育料・教育費などの負担軽減がされている	3-14 子育て支援対策の充実
③住民が子どもの心を育む地域づくりをしている	
④保育園、学童保育など、保育体制が充実している	5-20 幼稚園など幼児教育の充実
⑤男性も子育てに参加できる環境づくりができている ⑥子どもが楽しく過ごせるまちづくりをしている	
⑦子ども同士、親同士のネットワークづくりが充実している	3-14 子育て支援対策の充実
8子育て相談・情報提供が充実している	3-14 子育て支援対策の充実
⑨ひとり親家庭への福祉サービスが充実している	3-14 子育て支援対策の充実
⑩子どもの人権・権利を守る意識の啓発活動が充実している	
①医療費の無料化が充実している	3-14 子育て支援対策の充実
7 教育・文化 ①小・中学校の学習活動が充実し、成果があがっている	5-21 学校教育の充実
②小・中学校の辞録・設備が充実している	5-21 学校教育の充実
③誰もが学べる生涯学習の機会が充実している	5-23 生涯学習活動の推進
④スポーツ・レクリエーション施設が整っている	5-25 スポーツ活動の支援や関連施設の整備
⑤文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	5-26 文化・芸術活動の振興
⑥文化財の保存と活用ができている	5-27 文化財の保存及び活用
⑦娯楽やレジャーの環境が整っている ◎ 対学担談・教育担談等が存実している	
⑧就学相談・教育相談等が充実している⑨青少年の健全育成を促す地域づくりができている	5-22 青少年の健全育成
8 地域生活	D7TV/E1D/W
①近隣の人たちと仲の良い生活ができている	
②公民館活動や区・組の活動などが活発である	8-40 地域のコミュニティ活動への支援
③地域活動への住民参加の機会がたくさんある	8-40 地域のコミュニティ活動への支援
④住民団体やNPOなどの育成・支援が充実している	8-39 住民団体やNPOなどの育成・支援
⑤ボランティア活動が活発である ⑥祭りやイベントが充実している	
① 景りやイベントが北美している	
9 行財政	
①町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	7-34 町政に関する情報提供や情報公開
②町民が意見や要望を言える機会がある	7-35 町政への住民参画の推進
③役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている	7-33 役場の窓口サービスの充実
④行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政)運営 ⑥町では、近畿市町はと連携した広域行政ができている	7-36 健全な財政運営や行政改革の推進
⑤町では、近隣市町村と連携した広域行政ができている	7-37 近隣市町村との連携強化 5-24 人権教育の充実
⑥男女共同参画や人権尊重の地域づくりができている	8-38 男女共同参画の推進
K	

■また、地区別の重要度の上位項目をまとめると、以下のとおりとなります。

重要度の上位3項目について全体と各地区を見ると、第1位が鵜殿地区では「沿岸整備など、津波への防災対策が整っている」となっています。また、第2位、第3位では、井田・神内地区と大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区で「子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている」、成川・鮒田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区、鵜殿地区で「消防・救急体制が整っている」が高くなっており、子育てや防災への高い関心がうかがえます。[図表5-5]

図表5-5 まちの各環境に関する重要度 (全体・居住地区)

【上位5項目】 (単位:評価点)

	第 1 位	第2位	第3位
全体	5-③ 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	3-③ 地震・台風等への防 災対策が整っている	3-④ 沿岸整備など、津波 への防災対策が整っている
	8. 48	8. 36	8. 26
井田·神内地区	5-③ 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	6-① 子どもにとって安 全・安心なまちづくりをし ている	3-③ 地震・台風等への防 災対策が整っている
	8. 66	7. 99	7. 98
成川・鮒田・高岡・北檜杖・瀬	5-③ 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	3-③ 地震・台風等への防 災対策が整っている	3-② 消防・救急体制が整っている
#田・神内地区 ったと安心で まして 安心で また	9. 29	9. 17	9.00
尾井・阪松原・	5-③ 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	6-⑨ ひとり親家庭への福祉サービスが充実している	6-① 子どもにとって安 全・安心なまちづくりをし ている
們你地區	8. 78	8. 15	8.06
鵜殿地区	3-④ 沿岸整備など、津波 への防災対策が整っている	3-③ 地震・台風等への防 災対策が整っている	3-② 消防・救急体制が整っている
	8. 45	8. 41	7. 87

(3) 満足度と重要度の相関(優先度)

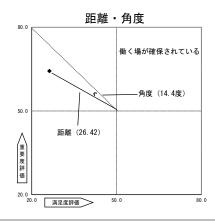
● 優先度が最も高い項目は「働く場が確保されている」。次いで「沿岸整備など、津波への防災対策が整っている」、「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」の順。

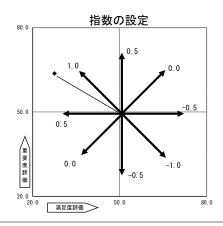
これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施 策項目を抽出するための一つの試みとして、満足度評価と重要度評価を相関させた散布 図を作成しました。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近 づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほ ど優先度が低くなります。この散布図からの数量化[下記参照]による分析で優先度(評 価点:最高点 42.43 点、中間点 0点、最低点-42.43 点)を算出しました。

この結果をみると、優先度は、「働く場が確保されている」(22.20 点)が第1位となっており、次いで「沿岸整備など、津波への防災対策が整っている」(17.29 点)、「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」(14.88 点)が続き、以下、「新規雇用・産業の創出」(14.63 点)、「地震・台風等への防災対策が整っている」(11.47 点)、「街路灯など、防犯の面で安心である」(11.15 点)、「歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している」(6.78 点)などの順となっています。[図表 $6-1\sim4$]

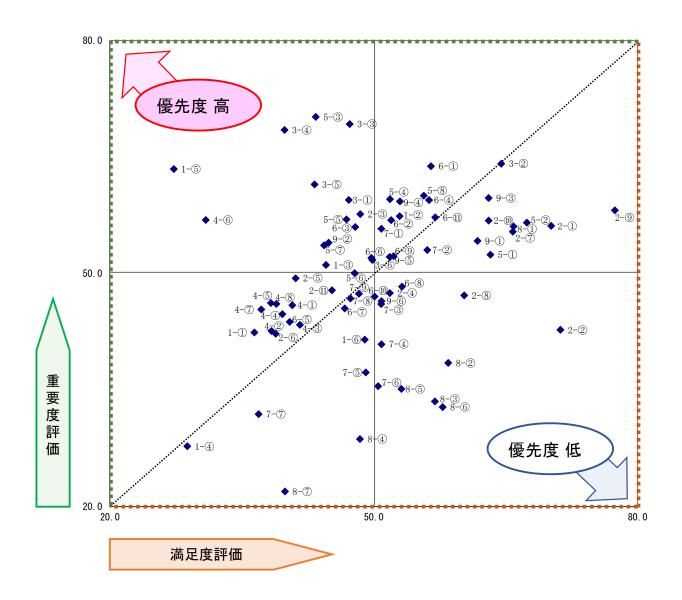
※優先度の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
 - 例:「1-⑤働く場が確保されている」→満足度偏差値27.27…、重要度偏差値63.46…
- ② ①で算出した偏差値から平均(中心)からの距離を算出する。
 - 例: $\lceil 1 5 \rceil$ 働く場が確保されている」 $\rightarrow 26.42 \dots = \sqrt{(27.27-50)^2 + (63.46-50)^2}$
- ③ 平均(中心)から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均(中心)から各項目への線の角度を求める。
 - 例:「1-⑤働く場が確保されている」→14.38度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する(指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・ 重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる)。
 - 例: [1-5]働く場が確保されている」 $\rightarrow 0.8402 = (90-14.38) \times (1\div90)$
- ⑤ ②で算出された平均(中心)からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。
 - 例:「1-⑤働く場が確保されている」→22.20=26.419···×0.8402···





図表6-1 満足度と重要度の相関(全体/優先度)



図表6-2 優先度(全体)

		設問	優先度	順位
	1-①	鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	2.73	
1 利便性	1-2	道路が便利である	2.06	
	1-3	食品や日用品の買い物がしやすい	3.49	
	1-4	衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	-0.46	
	1-⑤	働く場が確保されている	22.20	1位
	1-6	情報基盤(インターネット環境など)が充実している	-3.63	
	2-①	自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全	-6.58	
	2-2	田園風景など景観が良い	-17.73	
	2-3	海岸・河川環境の整備と保全	4.89	
	2-4	住宅や宅地に恵まれている	-2.80	
2	2-5	身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	4.08	
快	2-6	ゆったりと過ごせる公園などがある	1.54	
適性	2-7	上水道の整備が進んでいる	-4.86	
1生	2-8	合併処理浄化槽などの整備が進んでいる	-8.85	
	2-9	ごみの分別収集や資源回収が進められている	-9.04	
	2-10	騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	-2.86	
	2-11	土地利用や市街地整備が適切にされている	1.20	
	3-1	歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している	6.78	7位
3	3-2	消防・救急体制が整っている	-0.16	
<i>,</i> +→	3-3	地震・台風等への防災対策が整っている	11.47	5位
安全	3-4	沿岸整備など、津波への防災対策が整っている	17.29	2位
産	3-5	街路灯など、防犯の面で安心である	11.15	6位
	3-6	消費者への振り込み詐欺や悪徳商法に対する相談体制が整っている	0.98	
	4-1	農業(担い手の育成、農地の整備など)の振興	2.39	
4	4-2	林業(担い手の育成、共生林等の保全など)の振興	1.92	
	4-3	水産業(担い手育成、漁場の整備など)の振興	0.81	
産業	4-4	商業(商業地域の形成や商業者への支援)の振興	2.36	
来	4-⑤	工業(既存企業の育成・支援)の振興や企業誘致	3.70	
観	4-6	新規雇用・産業の創出	14.63	4位
光	4-7	観光資源の発掘やPR	3.80	
	4-8	特産品の開発や普及活動	3.34	
	5-①	健康づくりに取り組む機会が充実している	-5.18	
5	5-2	健康診断や保健指導の体制が充実している	-5.04	
	5-3	病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	14.88	3位
保健	5-4	高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	3.69	
•	5-⑤	障がい者 (児) のための施設・福祉サービスが充実している	5.85	9位
福	5-6	高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	1.12	
祉	5-7	障がい者 (児) が生きがいを持てる機会が充実している	5.81	
	5-8	国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	1.98	
	6-1	子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている	3.35	
	6-2	保育料・教育費などの負担軽減がされている	2.31	
_	6-3	住民が子どもの心を育む地域づくりをしている	4.54	
6 子育て支援	6-4	保育園、学童保育など、保育体制が充実している	1.44	
	6-5	男性も子育てに参加できる環境づくりができている	1.52	
	6-6	子どもが楽しく過ごせるまちづくりをしている	1,20	
	6-7	子ども同士、親同士のネットワークづくりが充実している	-0.53	
	6-8	子育て相談・情報提供が充実している	-2.52	
	6-9	ひとり親家庭への福祉サービスが充実している	-0.01	
	6-10	子どもの人権・権利を守る意識の啓発活動が充実している	-1.54	
	6-11)	医療費の無料化が充実している	0.11	

		設問	優先度	順位
7	7-①	小・中学校の学習活動が充実し、成果があがっている	2.37	
	7-2	小・中学校の施設・設備が充実している	-1.40	
	7-3	誰もが学べる生涯学習の機会が充実している	-2.55	
教	7-4	スポーツ・レクリエーション施設が整っている	-5.13	
教育	7-5	文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	-5.80	
文	7-6	文化財の保存と活用ができている	-7.56	
化	7-7	娯楽やレジャーの環境が整っている	-2.26	
	7-8	就学相談・教育相談等が充実している	-0.25	
	7-9	青少年の健全育成を促す地域づくりができている	-0.41	
	8-①	近隣の人たちと仲の良い生活ができている	-4.56	
8	8-2	公民館活動や区・組の活動などが活発である	-12.92	
444	8-3	地域活動への住民参加の機会がたくさんある	-13.49	
地域生活	8-4	住民団体や NPO などの育成・支援が充実している	-9.68	
生	8-5	ボランティア活動が活発である	-9.61	
活	8-6	祭りやイベントが充実している	-14.59	
	8-7	国内・国際交流が盛んである	-8.35	
	9-1	町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	-3.53	
9 行 財	9-2	町民が意見や要望を言える機会がある	5.97	8位
	9-3	役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている	-1.51	
	9-4	行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政)運営	2.95	
政	9-5	町では、近隣市町村と連携した広域行政ができている	0.15	
	9-6	男女共同参画や人権尊重の地域づくりができている	-2.39	

図表6-3 優先度(全体)

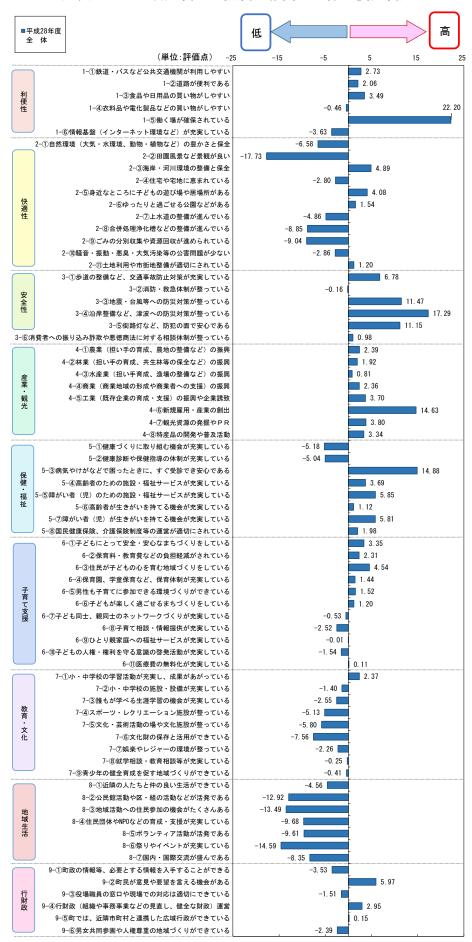
【上位 10 項目】 (単位:評価点)

		優、先、度	評価点
第1位	1-5	働く場が確保されている	22. 20
第2位	3-4	沿岸整備など、津波への防災対策が整っている	17. 29
第3位	5-3	病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	14. 88
第4位	4-6	新規雇用・産業の創出	14. 63
第5位	3-3	地震・台風等への防災対策が整っている	11. 47
第6位	3-5	街路灯など、防犯の面で安心である	11. 15
第7位	3-①	歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している	6. 78
第8位	9-2	町民が意見や要望を言える機会がある	5. 97
第9位	5-5	障がい者 (児) のための施設・福祉サービスが充実している	5. 85
第10位	5-⑦	障がい者(児)が生きがいを持てる機会が充実している	5. 81

【下位 10 項目】 (単位:評価点)

		優 先 度	評価点
第1位	2-2	田園風景など景観が良い	-17. 73
第2位	8-6	祭りやイベントが充実している	-14. 59
第3位	8-3	地域活動への住民参加の機会がたくさんある	-13. 49
第4位	8-2	公民館活動や区・組の活動などが活発である	-12. 92
第5位	8-4	住民団体や NPO などの育成・支援が充実している	-9. 68
第6位	8-⑤	ボランティア活動が活発である	-9. 61
第7位	2-9	ごみの分別収集や資源回収が進められている	-9.04
第8位	2-8	合併処理浄化槽などの整備が進んでいる	-8. 85
第9位	8-7	国内・国際交流が盛んである	-8. 35
第10位	7-6	文化財の保存と活用ができている	-7. 56

図表6-4 満足度と重要度の相関(全体/優先度)



5 町の将来像(あるべき姿)について

問 6 10 年後の町の将来像(あるべき姿)についてお聞きします。あなたは紀宝町がどんな町になればよいと思いますか。(3つまで○印)

▼

● 「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」(51.8%)が第1位、次いで「高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち」(40.8%)、「水と緑の豊かな自然環境のあるまち」(40.3%)の順。

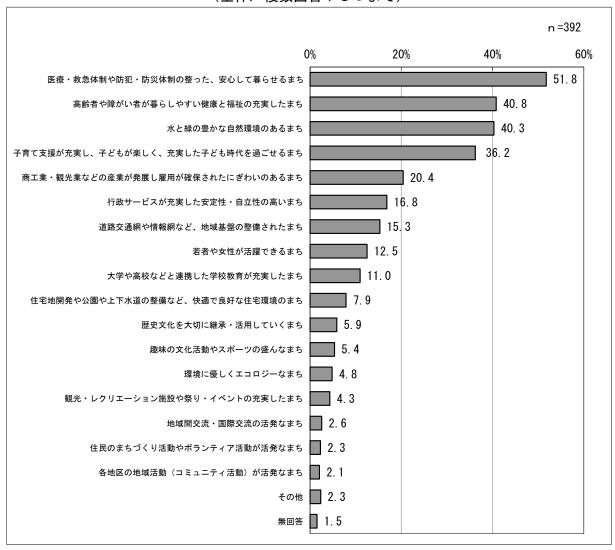
10年後の町の将来像(あるべき姿)についてたずねたところ、「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」(51.8%)が第1位、次いで「高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち」(40.8%)、「水と緑の豊かな自然環境のあるまち」(40.3%)、「子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち」(36.2%)、「商工業・観光業などの産業が発展し雇用が確保されたにぎわいのあるまち」(20.4%)、「行政サービスが充実した安定性・自立性の高いまち」(16.8%)などの順となっています。[図表7]

性別でみると、男女ともに第1位が「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」、第3位が「高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち」となっています。男性の第2位が「水と緑の豊かな自然環境のあるまち」のに対し、女性の第2位は「子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち」となっています。

年齢でみると、10・20歳代、30歳代では「子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち」が第1位に、また、40歳代、50歳代、60歳代では「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」、70歳代、80歳以上では「高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち」が第1位となっています。

地域別にみると、いずれの地区も第1位が「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」となっています。また、井田・神内地区では第2位が「子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち」となっています。[図表7-1]

図表7 町の将来像(あるべき姿)について (全体/複数回答:3つまで)



図表7-1 町の魅力について

(全体・性別・年齢・居住地区/複数回答:3つまで)

(上位3位、単位:%)

		第1位	第2位	第3位
全	体	医療・防犯体制等の整った、安心して暮らせるまち	健康と福祉の充実したまち	水と緑の豊かな自然環境 のあるまち
		51.8%	40.8%	40. 3%
性	男性	医療・防犯体制等の整った、安心して暮らせるまち	水と緑の豊かな自然環境 のあるまち	健康と福祉の充実したま ち
別		46.2%	44.7%	37.9%
	女性	医療・防犯体制等の整っ た、安心して暮らせるまち	子育て支援で充実した子 ども時代を過ごせるまち	健康と福祉の充実したま ち
		59.4%	42.4%	39.4%
年	10・20 歳代	子育て支援で充実した子 ども時代を過ごせるまち	水と緑の豊かな自然環境 のあるまち	医療・防犯体制等の整った、安心して暮らせるまち
齢		59.0%	48.7%	35. 9%
	30 歳代	子育て支援で充実した子 ども時代を過ごせるまち	水と緑の豊かな自然環境のを 整った、安心して暮らせる。	
		60.3%		46.6%
	40 歳代	医療・防犯体制等の整った、安心して暮らせるまち	子育て支援で充実した子 ども時代を過ごせるまち	水と緑の豊かな自然環境 のあるまち
		49.0%	43.1%	33.3%
	50 歳代	医療・防犯体制等の整った、安心して暮らせるまち	健康と福祉の充実したま ち	子育て支援で充実した子 ども時代を過ごせるまち
		58. 7%	44.4%	28.6%
	60 歳代	医療・防犯体制等の整った、安心して暮らせるまち	健康と福祉の充実したま ち	水と緑の豊かな自然環境 のあるまち
		58. 4%	47.2%	44.9%
	70 歳代	健康と福祉の充実したま ち	医療・防犯体制等の整った、安心して暮らせるまち	水と緑の豊かな自然環境 のあるまち
		58.1%	54.1%	39.2%
	80 歳以上	健康と福祉の充実したま ち	医療・防犯体制等の整った、安心して暮らせるまち	水と緑の豊かな自然環境 のあるまち
		61.5%	53.8%	38.5%
居住地区	井田•神内地区	医療・防犯体制等の整っ た、安心して暮らせるまち	子育て支援で充実した子 ども時代を過ごせるまち	水と緑の豊かな自然環境 のあるまち
地区		49.6%	47.8%	47.0%
<u></u>	成川・鮒田・高 岡・北檜杖・瀬	医療・防犯体制等の整った、安心して暮らせるまち	健康と福祉の充実したま ち	水と緑の豊かな自然環境 のあるまち
	原・浅里地区	57.7%	39.4%	32.4%
	大里・井内・平 尾井・阪松原・	医療・防犯体制等の整った、安心して暮らせるまち	水と緑の豊かな自然環境 のあるまち	健康と福祉の充実したま ち
	桐原地区	55.6%	50.0%	33.3%
	鵜殿地区	医療・防犯体制等の整った、安心して暮らせるまち	健康と福祉の充実したま ち	水と緑の豊かな自然環境 のあるまち
		49.7%	44.3%	34.9%

6 あなたの生活や地域のことについて

- 問7 あなたの生活や地域のことについて、おたずねします。 この1年くらいのことをふりかえってみてお答えください。(1つに〇印)
 - 1)健康づくりに取り組んでいますか。

 \blacksquare

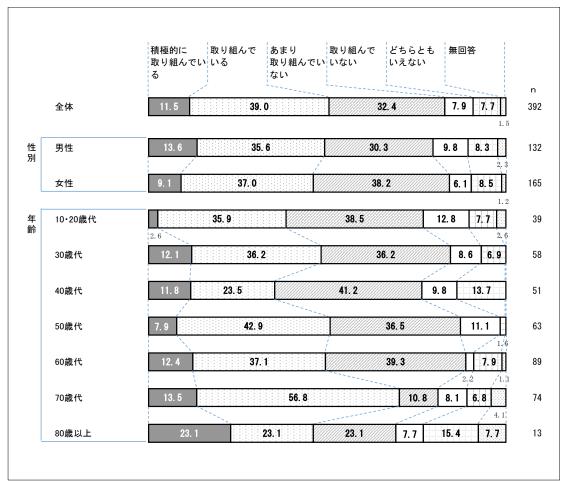
● 健康づくりに取り組んでいる人は50.5%。

健康づくりに取り組んでいる人は、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」があわせて50.5%、「あまり取り組んでいない」、「取り組んでいない」があわせて40.3%となっています。

性別でみると、男性の方が「積極的に取り組んでいる」が若干高く、健康づくりに取り組んでいる率が女性をわずかに上回っています。

年齢でみると、全体と比べ、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた数では、70歳代(70.3%)が高くなっており、 $10\cdot20$ 歳代(38.5%)、40歳代(35.3%)が低くなっています。[図表8]

図表 8 健康づくりへの取り組み (全体・性別・年齢) (単位:%)



2) 健康維持のため、各種健康診断や健康相談を受けていますか。

 \blacksquare

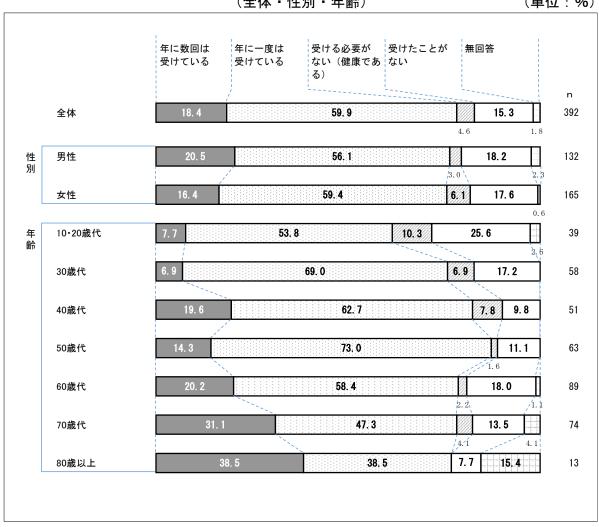
● 健康維持のため、各種健康診断や健康相談を受けている人は78.3%。

各種健康診断や健康相談を受けている人は、「年に数回は受けている」、「年に一度は受けている」があわせて 78.3%、「受ける必要がない」、「受けたことがない」があわせて 19.9%となっています。

性別でみると、男女間で各種健康診断や健康相談を受けている人に大きな違いは見られません。

年齢でみると、全体と比べ、「年に数回は受けている」、「年に一度は受けている」をあわせた数では、50 歳代 (87.3%)、40 歳代 (82.3%) が高くなっており、 $10 \cdot 20$ 歳代 (61.5%) が低くなっています。[図表9]

図表 9 健康診断や相談の受診 (全体・性別・年齢) (単位:%)



3) スポーツ活動(ウォーキング等、軽スポーツ・運動を含む)に、どれくらい取り組んでいますか。

 \blacksquare

● スポーツ活動に週1回以上取り組んでいる人は41.6%。

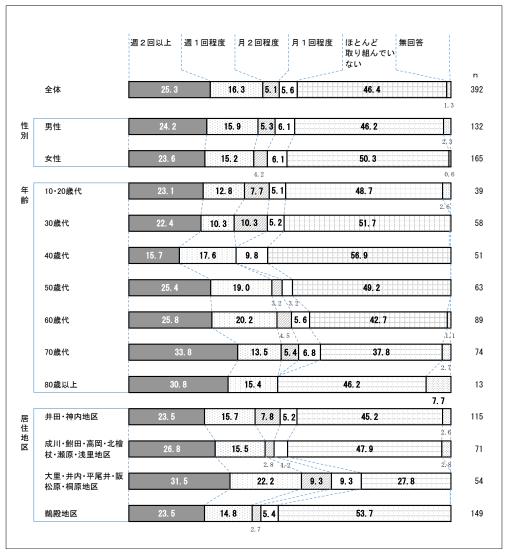
スポーツ活動に取り組んでいる人は、「週2回以上」、「週1回程度」があわせて41.6%、「月2回程度」、「月1回程度」があわせて10.7%、「ほとんど取り組んでいない」が46.4%となっています。

性別でみると、男女間でスポーツ活動に取り組んでいる人に大きな違いは見られません。

年齢でみると、全体と比べ、「週2回以上」、「週1回程度」をあわせた数では、50歳 代以上が高くなっており、40歳代以下が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比べ、「週2回以上」、「週1回程度」をあわせた数では、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区(53.7%)で高くなっています。[図表10]

図表 10 スポーツ活動への取り組み (全体・性別・年齢・居住地区) (単位:%)



4) 地域の公園を利用していますか。

● 地域の公園を利用する人は 22.5%。

地域の公園を利用する人は、「よく利用する」、「たまに利用する」があわせて 22.5%、「あまり利用しない」、「ほとんど利用しない」があわせて 52.1%、「利用したことがない」が 24.0%となっています。

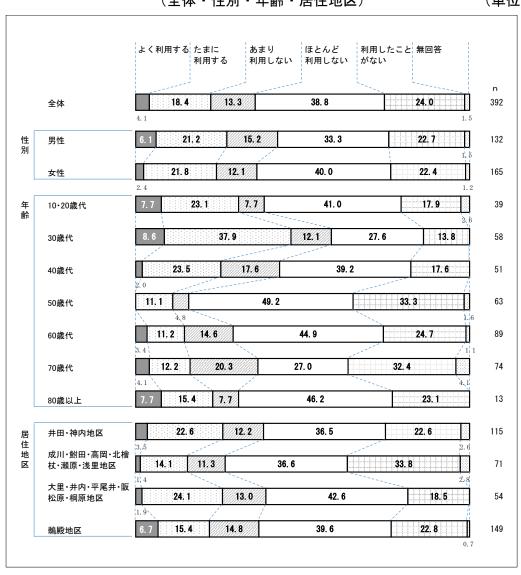
性別でみると、男女間で地域の公園を利用する人に大きな違いは見られません。

▼

年齢でみると、全体と比較して、「よく利用する」、「たまに利用する」をあわせた数では、40歳代以下が高くなっており、50歳代から70歳代が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「よく利用する」、「たまに利用する」をあわせた数では、井田・神内地区 (26.1%) と、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区 (26.0%) が高くなっています。 [図表 11]

図表 11 地域の公園の利用 (全体・性別・年齢・居住地区) (単位:%)



5) ふだん公共の交通機関を利用していますか。

▼

● 公共交通機関を利用する人は19.4%。

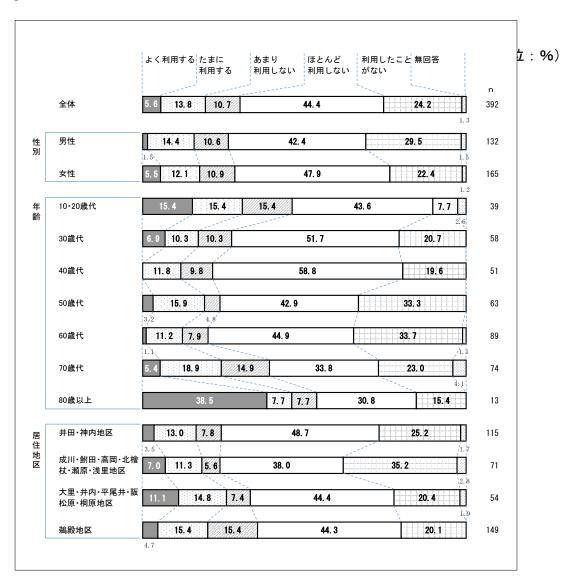
公共交通機関を利用する人は、「よく利用する」、「たまに利用する」があわせて19.4%、「あまり利用しない」、「ほとんど利用しない」があわせて55.1%、「利用したことがない」が24.2%となっています。

性別でみると、男女間で公共交通機関を利用する人は、大きな違いは見られませんが、「利用したことがない」と答えた人は男性が女性を約7%上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「よく利用する」、「たまに利用する」をあわせた数では、 $10\cdot 20$ 歳代、70 歳代、80 歳以上が高くなっており、40 歳代、60 歳代が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「よく利用する」、「たまに利用する」をあわせた

数では、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区(25.9%)が高くなっています。[**図表12**]



6) 地域では、開発行為や土地の売買、利用にあたっては、自然環境との調和を図っていますか。

 \blacksquare

● 自然環境との調和を図っている人は 21.2%。

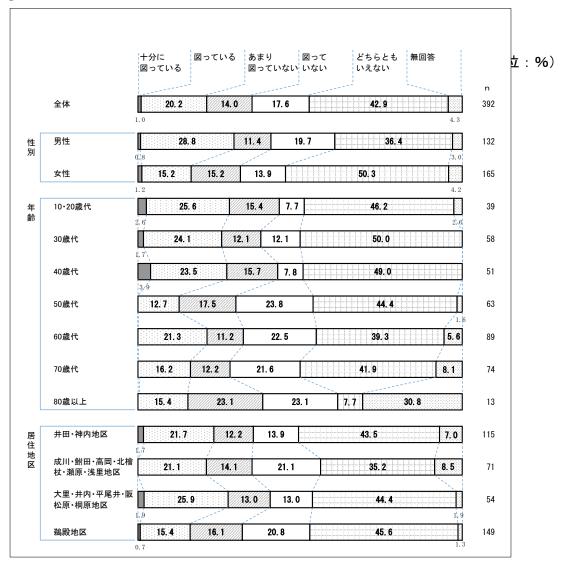
自然環境との調和を図っている人は、「十分に図っている」、「図っている」があわせて 21.2%、「あまり図っていない」、「図っていない」があわせて 31.6%、「どちらともいえない」が 42.9%となっています。

性別でみると、「十分に図っている」、「図っている」をあわせた数では、男性(29.6%) が女性(16.4%)と全体(21.2%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に図っている」、「図っている」をあわせた数で

は、40 歳代以下が高くなっており、50 歳代と70 歳代、80 歳以上が低くなっています。 居住地区でみると、全体と比較して、「十分に図っている」、「図っている」をあわせ た

数では、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区(27.8%)が高くなっています。[図表13]



7) 地域では、住宅の新築、建て替えなどの際、地域の景観に配慮した住環境づくりをしていますか。

 \blacksquare

● 景観に配慮した住環境づくりをしている人は 26.5%。

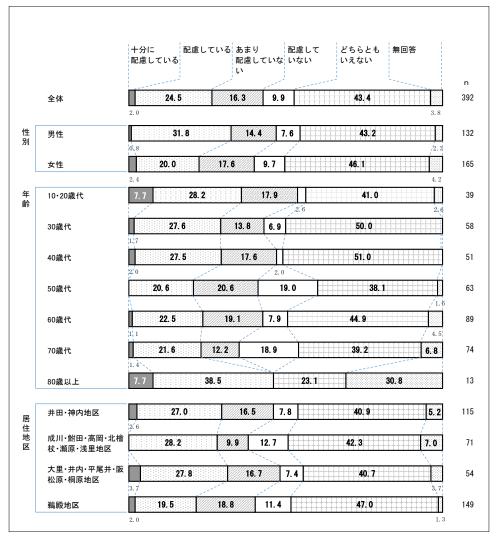
景観に配慮した住環境づくりをしている人は、「十分に配慮している」、「配慮している」があわせて 26.5%、「あまり配慮していない」、「配慮していない」があわせて 26.2%、「どちらともいえない」が 43.4%となっています。

性別でみると、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせた数では、男性 (32.6%) が女性 (22.4%) と全体 (26.5%) より高くなっています。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせた数では、10・20歳代と80歳以上が高くなっており、50歳代が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「十分に図っている」、「図っている」をあわせた数では、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区(31.5%)が高くなっており、鵜殿地区(21.5%)が低くなっています。[図表 14]

図表 14 景観に配慮した住環境づくり (全体・性別・年齢・居住地区) (単位:%)



8) 花の植栽や清掃活動などによる美しい道や安全で快適な道路環境づくりに参加したいと思いますか。

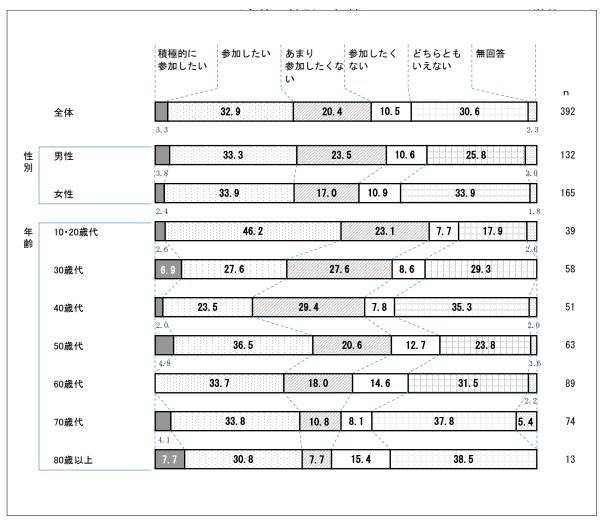
 \blacksquare

● 美しい道や安全で快適な道路環境づくりに参加したいと思う人は36.2%。

美しい道や安全で快適な道路環境づくりに参加したいと思う人は、「積極的に参加したい」、「参加したい」があわせて36.2%、「あまり参加したくない」、「参加したくない」があわせて30.9%、「どちらともいえない」が30.6%となっています。

性別でみると、男女間で美しい道や安全で快適な道路環境づくりに参加したいと思う 人は大きな違いはありませんが、「あまり参加したくない」の数で男性が女性を上回っ ています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせた数では、 $10 \cdot 20$ 歳代と 50 歳代が高くなっており、40 歳代が低くなっています。[図表 15]



図表 15 道路環境づくりに参加

9) 町の港湾を親水空間や交流などの拠点として活用していますか。

▼

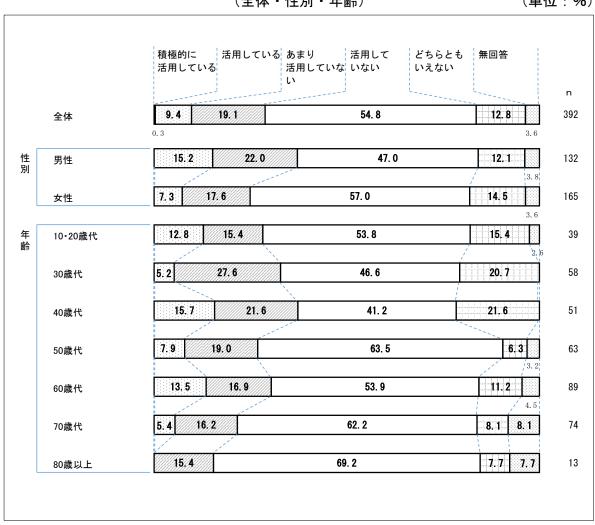
● 町の港湾を親水空間や交流などの拠点として活用している人は 9.7%。

町の港湾を親水空間や交流などの拠点として活用している人は、「積極的に活用している」、「活用している」があわせて 9.7%、「あまり活用していない」、「活用していない」があわせて 73.9%、「どちらともいえない」が 12.8%となっています。

性別でみると、全体と比較して、「積極的に活用している」、「活用している」をあわせた数では、男性が高くなっています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に活用している」、「活用している」をあわせた数では、40歳代が高くなっています。また、80歳以上では「あまり活用していない」、「活用していない」の割合が高く、あわせて84.6%となっています。[図表16]

図表 16 港湾を親水空間や交流などの拠点として活用 (全体・性別・年齢) (単位:%)



10) 町からの情報を収集するとき、インターネットや役場等に置かれている公開用のパソコンを活用していますか。

 \blacksquare

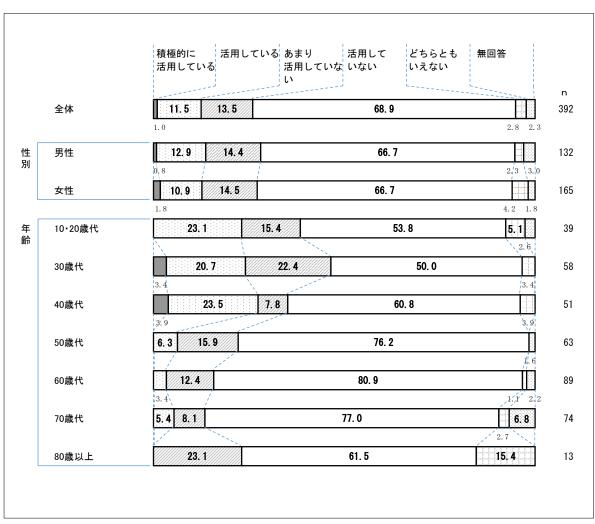
● 公開用のパソコンを活用している人は12.5%。

町からの情報収集時に公開用のパソコンを活用している人は、「積極的に活用している」、「活用している」があわせて12.5%、「あまり活用していない」、「活用していない」があわせて82.4%、「どちらともいえない」が2.8%となっています。

性別でみると、男女間で町からの情報収集時に公開用のパソコンを活用している人に 大きな違いはありません。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に活用している」、「活用している」をあわせた数では40歳代が高くなっており、、50歳代以上が低くなっています。[図表 17]

図表 17 公開用パソコンの活用 (全体・性別・年齢) (単位:%)



11) 町の景観の保全のためにゴミ拾いなどの活動をしていますか。

▼

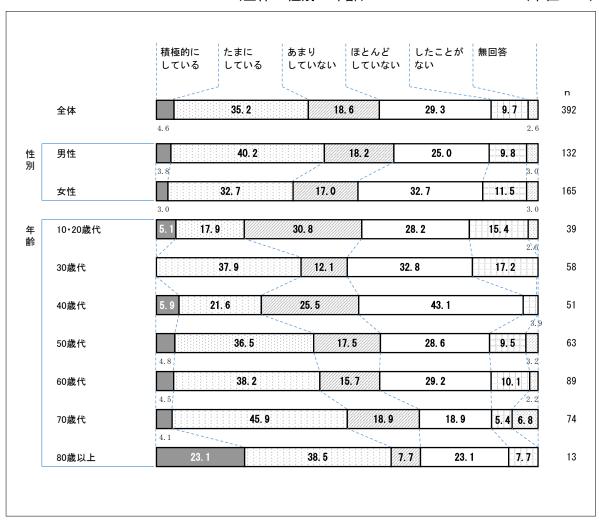
● 町の景観の保全のためにゴミ拾いなどの活動をしている人は39.8%。

町の景観の保全のためにゴミ拾いなどの活動している人は、「積極的にしている」、「たまにしている」があわせて39.8%、「あまりしていない」、「ほとんどしていない」があわせて47.9%、「したことがない」が9.7%となっています。

性別でみると、「積極的にしている」、「たまにしている」をあわせた数では、男性 (44.0%) が女性 (35.8%) を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的にしている」、「たまにしている」をあわせた数では、70歳代、80歳以上が高なっており、 $10 \cdot 20$ 歳代、40歳代が低くなっています。[図表 18]

図表 18 町の景観保全のためにゴミ拾いなどの活動 (全体・性別・年齢) (単位:%)



12) 自然への理解を深める活動などに参加していますか。

V

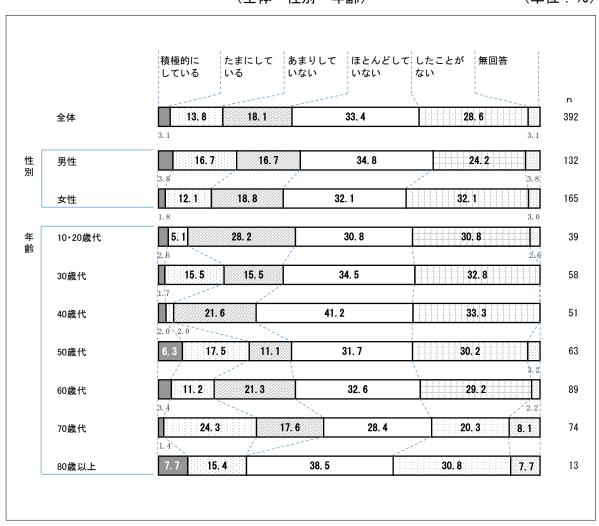
● 自然への理解を深める活動などに参加している人は 16.9%。

自然への理解を深める活動などに参加している人は、「積極的にしている」、「たまにしている」があわせて 16.9%、「あまりしていない」、「ほとんどしていない」があわせて 51.5%、「したことがない」が 28.6%となっています。

性別でみると、「積極的にしている」、「たまにしている」をあわせた数では、男性 (20.5%)が女性(13.9%)を上回っています。一方、「したことがない」では女性(32.1%) が男性(24.2%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的にしている」、「たまにしている」をあわせた数では、50 歳代、70 歳代、80 歳以上が高くなっており、 $10 \cdot 20$ 歳代、40 歳代が低くなっています。[図表 19]

図表 19 自然への理解を深める活動などに参加 (全体・性別・年齢) (単位:%)



13) 河川・海岸の環境美化活動などに参加していますか。

▾

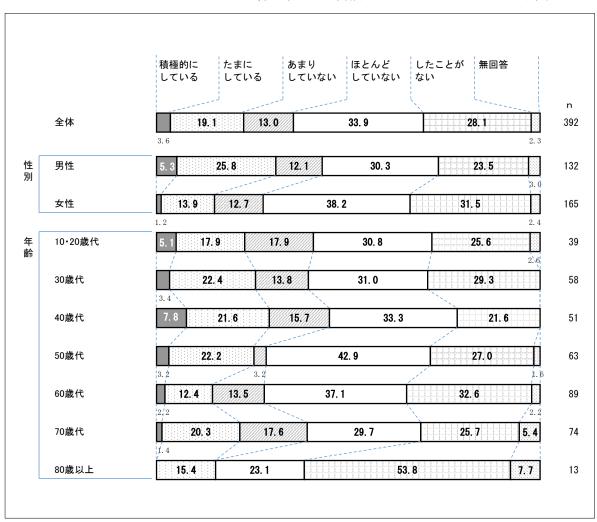
● 河川・海岸の環境美化活動などに参加している人は22.7%。

河川・海岸の環境美化活動などに参加している人は、「積極的にしている」、「たまにしている」があわせて 22.7%、「あまりしていない」、「ほとんどしていない」があわせて 46.9%、「したことがない」が 28.1%となっています。

性別でみると、「積極的にしている」、「たまにしている」をあわせた数では、男性 (31.1%) が女性 (15.1%) と全体 (22.7%) より高くなっています。

年齢でみると、全体と比較して「積極的にしている」、「たまにしている」をあわせた数では、40歳代が高くなっており、60歳代、80歳以上が低くなっています[図表 20]

図表 20 河川・海岸の環境美化活動などに参加 (全体・性別・年齢) (単位:%)



14) 町には、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部が存在していますが、古道等の保全のため、清掃活動等に参加したことがありますか。

 \blacksquare

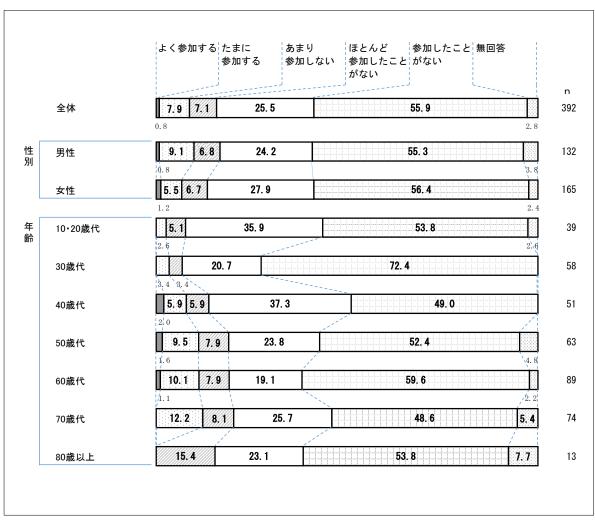
● 古道等の保全のために清掃活動等に参加している人は8.7%。

古道等の保全のために清掃活動等に参加している人は、「よく参加する」、「たまに参加する」があわせて 8.7%、「あまり参加しない」、「ほとんど参加したことがない」が あわせて 32.6%、「参加したことがない」が 55.9%となっています。

性別でみると、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた数では、男性 (9.9%) が女性 (6.7%) を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた数では、10・20歳代、30歳代、80歳以上が低くなっています。[図表 21]

図表 21 古道等の保全のために清掃活動等に参加 (全体・性別・年齢) (単位:%)



15) 文化財やその周辺地域の保存を前提とした学習活動に参加したことがありますか。

▼

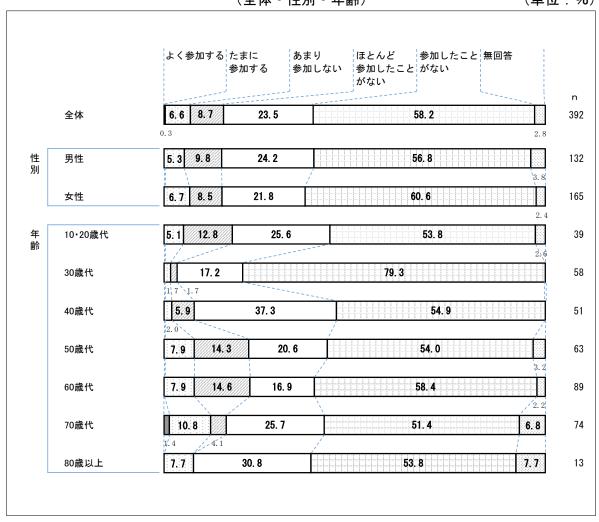
● 文化財やその周辺地域の保存を前提とした学習活動に参加している人は 6.9%。

文化財やその周辺地域の保存を前提とした学習活動に参加している人は、「よく参加する」、「たまに参加する」があわせて 6.9%、「あまり参加しない」、「ほとんど参加したことがない」が 58.2%となっています。 性別でみると、男性と女性では文化財やその周辺地域の保存を前提とした学習活動への参加状況に大きな違いはありません。

年齢でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた数では、70歳代が若干高くなっており、30歳代、40歳代が若干低くなっています。

「図表 22]

図表 22 文化財やその周辺地域の保存を前提とした学習活動に参加 (全体・性別・年齢) (単位:%)



16) 家庭では積極的に節水に配慮していますか。

 \blacksquare

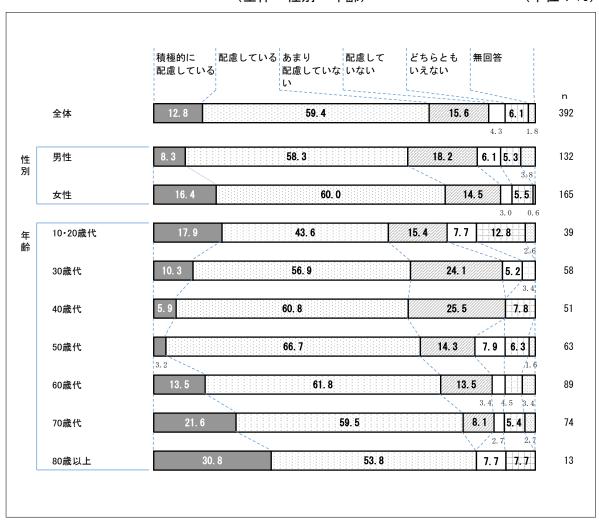
● 家庭では積極的に節水に配慮している人は 72.2%。

家庭では積極的に節水に配慮している人は、「積極的に配慮している」、「配慮している」があわせて 72.2%、「あまり配慮していない」、「配慮していない」があわせて 19.9%、「どちらともいえない」が 6.1%となっています。

性別でみると、「積極的に配慮している」、「配慮している」をあわせた数では、女性 (76.4%) が男性 (66.6%) を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に配慮している」、「配慮している」をあわせた数では、70歳代、80歳以上が高くなっており、10・20歳代が低くなっています。 「図表 23]

図表 23 家庭では積極的に節水に配慮 (全体・性別・年齢) (単位:%)



17) 台所の野菜クズやお風呂場の髪の毛等、汚物を流さないように対策をし、生活排水の処理について配慮していますか。

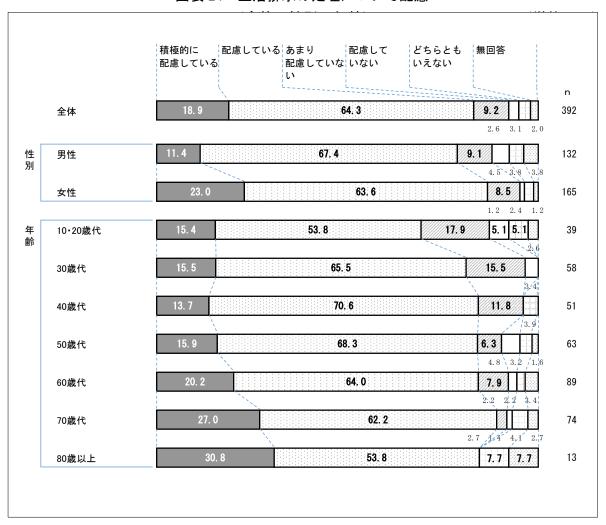
 \blacksquare

● 生活排水の処理について配慮している人は83.2%。

生活排水の処理について配慮している人は、「積極的に配慮している」、「配慮している」があわせて83.2%、「あまり配慮していない」、「配慮していない」があわせて11.8%、「どちらともいえない」が3.1%となっています。

性別でみると、「積極的に配慮している」、「配慮している」をあわせた数では、女性 (86.6%) が男性 (78.8%) を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に配慮している」、「配慮している」をあわせた数では、70歳代が若干高くなっており、10・20歳代が低くなっています。[図表24]



図表 24 生活排水の処理について配慮

18) 電気のムダ使いを気にかけるなど、環境に配慮していますか。

▼

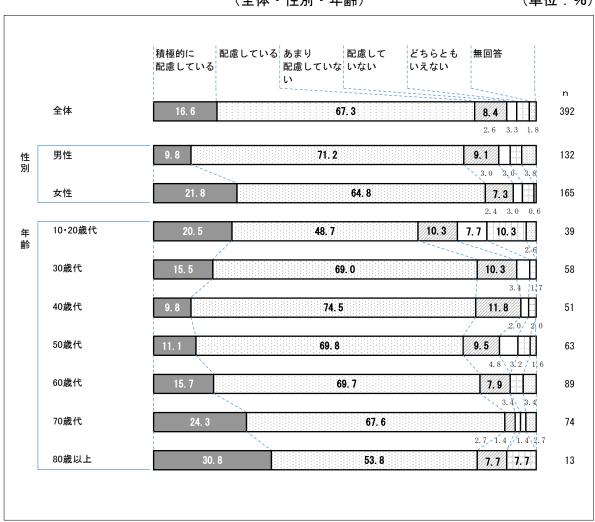
● 電気のムダ使いなど、環境に配慮している人は83.9%。

電気のムダ使いなど、環境に配慮している人は、「積極的に配慮している」、「配慮している」があわせて83.9%、「あまり配慮していない」、「配慮していない」があわせて11.0%、「どちらともいえない」が3.3%となっています。

性別でみると、「積極的に配慮している」で、女性(21.8%)が男性(9.8%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に配慮している」、「配慮している」をあわせた数では、70歳代が高くなっており、10・20歳代が低くなっています。また、10・20歳代では「どちらともいえない」の数も高くなっています。[図表 25]

図表 25 電気のムダ使いなど環境に配慮 (全体・性別・年齢) (単位:%)



19) 製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいますか。

▼

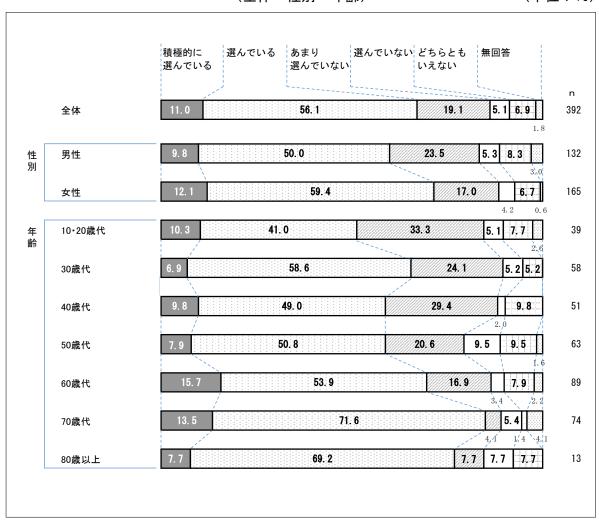
● 製品購入時に、環境に配慮したものを選んでいる人は 67.1%。

製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいる人は、「積極的に選んでいる」、「選んでいる」があわせて 67.1%、「あまり選んでいない」、「選んでいない」があわせて 24.2%、「どちらともいえない」が 6.9%となっています。

性別でみると、「積極的に選んでいる」、「選んでいる」をあわせた数では、女性(71.5%) が男性(59.8%)を約12%上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に選んでいる」、「選んでいる」をあわせた数では、70歳代、80歳以上が高くなっており、10・20歳代、40歳代、50歳代が低くなっています。「図表 26]

図表 26 製品を購入時に環境に配慮 (全体・性別・年齢) (単位:%)



20) 環境に優しい循環型社会の実現のため、リデュース(ごみの発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(ゴミの再生利用)などの3R活動に取り組んでいますか。

 \blacksquare

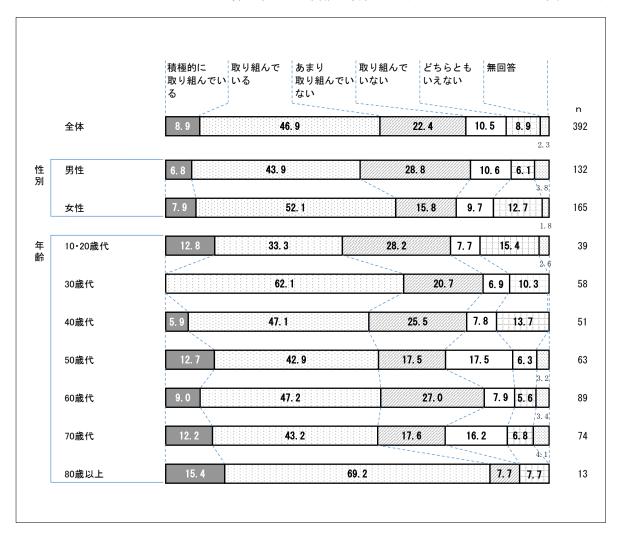
● 循環型社会の実現のため、3 R活動に取り組んでいる人は 55.9%。

循環型社会の実現のため、3R活動に取り組んでいる人は、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」があわせて55.8%、「あまり取り組んでいない」、「取り組んでいない」があわせて32.9%、「どちらともいえない」が8.9%となっています。

性別でみると、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた数では、 女性(60.0%)が男性(50.7%)を約10%上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた数では、30歳代、80歳以上が高くなっており、10・20歳代が低くなっています。なお、30歳代の「積極的に取り組んでいる」の数は低いですが、「取り組んでいる」の数が高いため3R活動に取り組んでいる数としては多くなっています。[図表 27]

図表 27 3 R活動への取り組み (全体・性別・年齢・居住地区) (単位:%)



21) 町の商業の振興のため、意識して地域で買い物をするようにしていますか。

▼

● 意識して地域(町内)で買い物をする人は38.0%。

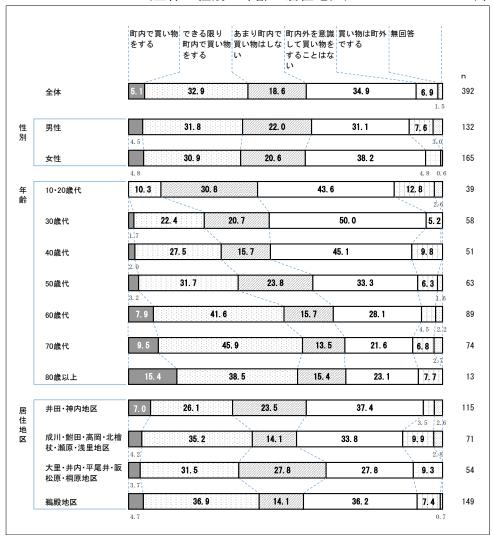
町の商業の振興のため、意識して地域で買い物をする人は、「町内で買い物をする」、「できる限り町内で買い物をする」があわせて38.0%、「あまり町内で買い物はしない」、「買い物は町外でする」があわせて25.5%、「町内外を意識して買い物をすることはない」が34.9%となっています。

性別でみると、「あまり町内で買い物はしない」、「買い物は町外でする」をあわせた数では、男性(29.6%)が女性(25.4%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「町内で買い物をする」、「できる限り町内で買い物をする」をあわせた数では、60歳代以上が高くなっており、40歳代以下が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた数では、鵜殿地区が高くなっています。[図表 28]

図表 28 町内での買い物 (全体・性別・年齢・居住地区) (単位:%)



22) 町の工業の振興のための企業誘致や工場誘致についてどう思いますか。

 \blacksquare

● 第1位は「町の実情に合わせてバランスよく進めるべき」(59.7%)、次いで「積極的に進めるべき」(22.2%)。

町の工業の振興のための企業誘致や工場誘致についてたずねたところ、「町の実情に合わせてバランスよく進めるべき」(59.7%)が第1位、次いで「積極的に進めるべき」(22.2%)となっており、企業誘致や工場誘致を推進の意見が高くなっています。また、「どちらともいえない」が8.9%となっています。

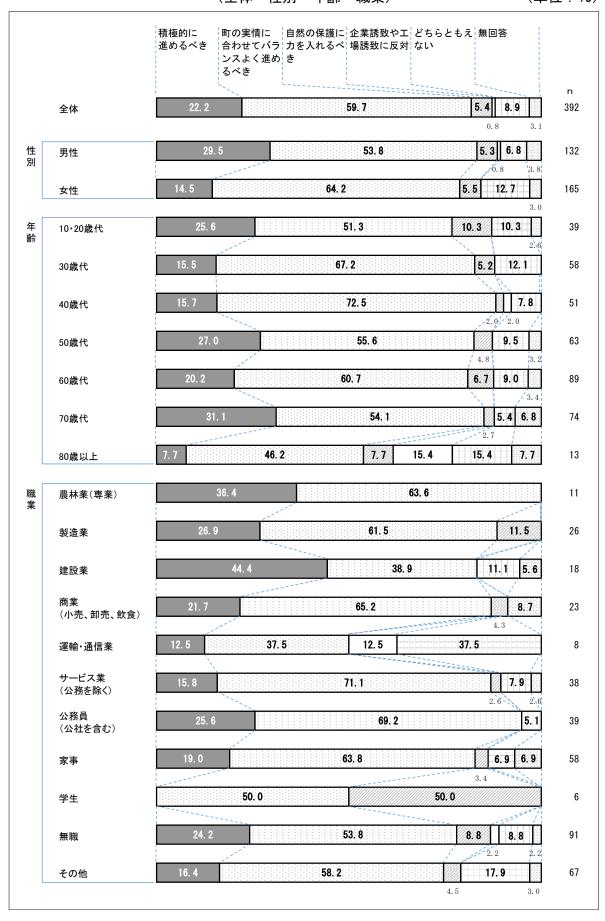
性別でみると、男女ともに「町の実情に合わせてバランスよく進めるべき」が第1位 となっており、女性(64.2%)が男性(53.8%)を上回っています。第2位の「積極的 に進めるべき」では、男性(29.5%)が女性(14.5%)を上回っています。

年齢でみると、すべての年齢で「町の実情に合わせてバランスよく進めるべき」が第1位となっており、40歳代(72.5%)が最も高く、次いで30歳代(67.2%)、60歳代(60.7%)と続いています。

職業でみると、建設業を除くすべての職業で「町の実情に合わせてバランスよく進めるべき」が第1位となっており、サービス業(公務を除く)(71.1%)が最も高く、次いで公務員(公社を含む)(69.2%)、商業(小売、卸売、飲食)(65.2%)と続いています。建設業では「積極的に進めるべき」(44.4%)が第1位となっています。また、運輸・通信業では「どちらともいえない」が「町の実情に合わせてバランスよく進めるべき」と同率で37.5%となっています。[図表29]

図表 29 企業誘致や工場誘致 (全体・性別・年齢・職業)

(単位:%)



23) 町の観光の振興のため、観光客と住民がともに楽しめるイベントや案内などのボランティアに参加したいと思いますか。

 \blacksquare

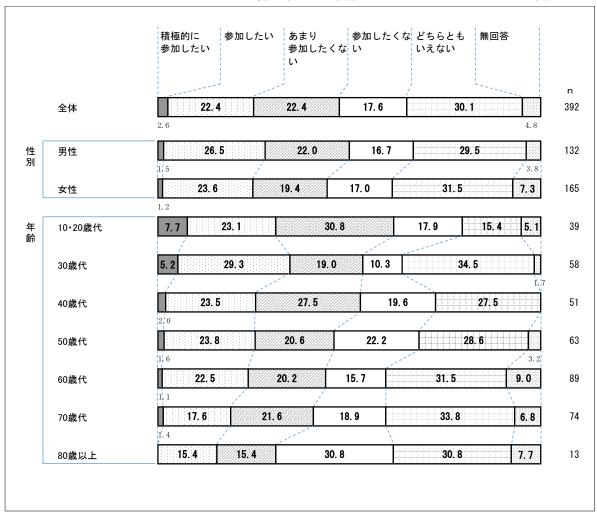
● 観光客と住民がともに楽しめるイベントや案内などのボランティアに参加 したいと思う人は、25.0%。

観光客と住民がともに楽しめるイベントや案内などのボランティアに参加したいと思う人は、「積極的に参加したい」、「参加したい」があわせて 25.0%、「あまり参加したくない」、「参加したくない」があわせて 40.1%、「どちらともいえない」が 30.1%となっています。

性別でみると、男女間でボランティアに参加したいと思う人に大きな違いはありません。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせた数では、 $10 \cdot 20$ 歳代、30 歳代が高くなっており、70 歳代、80 歳以上が低くなっています。[図表 30]

図表 30 ボランティアに参加 (全体・性別・年齢) (単位:%)



24) 町の特産品として他の市町村の人へ自信をもって薦めることができるものはありますか。

▼

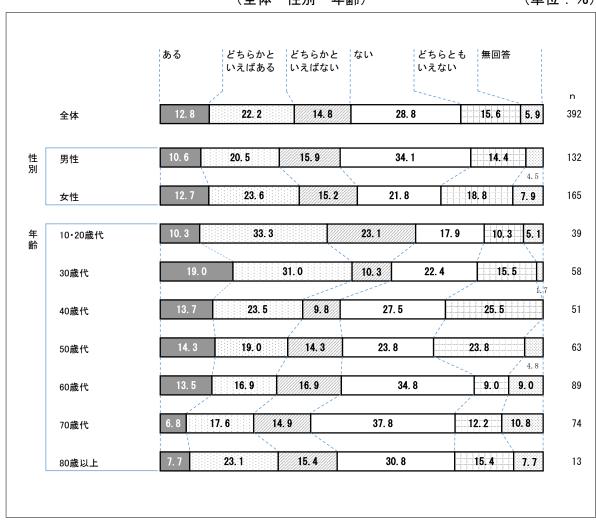
● 自信をもって薦められる町の特産品がある人は35.0%。

町の特産品として他の市町村の人へ自信をもって薦めることができるものがある人は、「ある」、「どちらかといえばある」があわせて 35.0%、「どちらかといえばない」、「ない」があわせて 43.6%、「どちらともいえない」が 15.6%となっています。

性別でみると、男女間で町の特産品として他の市町村の人へ自信をもって薦めることができるものがあるかについては大きな違いはありません。

年齢でみると、全体と比較して、「ある」、「どちらかといえばある」をあわせた数では、 $10 \cdot 20$ 歳代、30歳代が高くなっており、70歳代が低くなっています。[図表 31]

図表 31 自信をもって薦められる町の特産品 (全体・性別・年齢) (単位:%)



25) 農業の持続的発展のために、食糧生産や生態系の維持といった、その保有する機能を学びたいと思いますか。

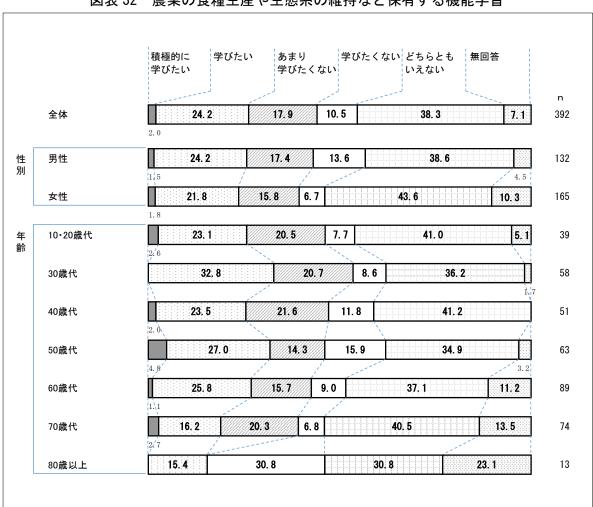
 \blacksquare

● 農業の食糧生産や生態系の維持など保有する機能を学びたい人は 26.2%。

農業の食糧生産や生態系の維持など保有する機能を学びたいと思う人は、「積極的に 学びたい」、「学びたい」があわせて 26.2%、「あまり学びたくない」、「学びたくない」 があわせて 28.4%、「どちらともいえない」が 38.3%となっています。

性別でみると、男女間で農業の食糧生産や生態系の維持など保有する機能を学びたい と思う人に違いがあり「あまり学びたくない」、「学びたくない」をあわせた数では、男 性(31.0%)が女性(22.5%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に学びたい」、「学びたい」をあわせた数では、30歳代、50歳代が高くなっており、70歳代、80歳以上が低くなっています。[図表32]



図表 32 農業の食糧生産や生態系の維持など保有する機能学習

26) 林業の持続的発展のために、環境保全や生態系の維持といった、その保有する機能を学びたいと思いますか。

 \blacksquare

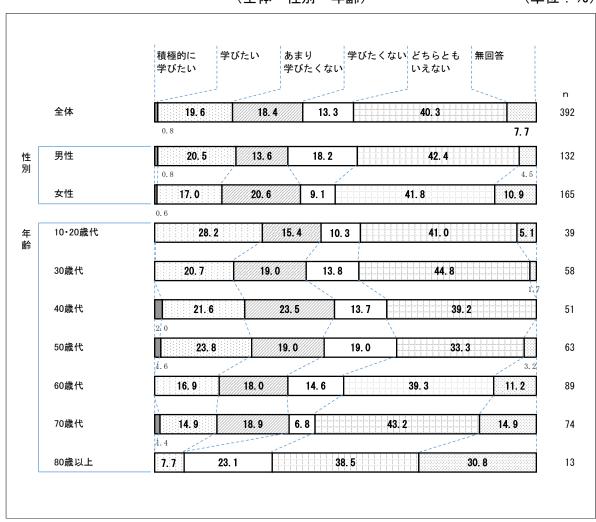
● 林業の環境保全や生態系の維持など保有する機能を学びたい人は 20.4%。

林業の環境保全や生態系の維持など保有する機能を学びたいと思う人は、「積極的に 学びたい」、「学びたい」があわせて 20.4%、「あまり学びたくない」、「学びたくない」 があわせて 31.7%、「どちらともいえない」が 40.3%となっています。

性別でみると、林業の保有する機能について学びたいと思っている人に大きな違いは ありません。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に学びたい」、「学びたい」をあわせた数では、10・20歳代が高くなっており、60歳代以上が低くなっています。[図表 33]

図表 33 林業の環境保全や生態系の維持など保有する機能学習 (全体・性別・年齢) (単位:%)



27) 水産業の持続的発展のために、水産資源の安定確保や生態系の維持といった、その保有する機能を学びたいと思いますか。

 \blacksquare

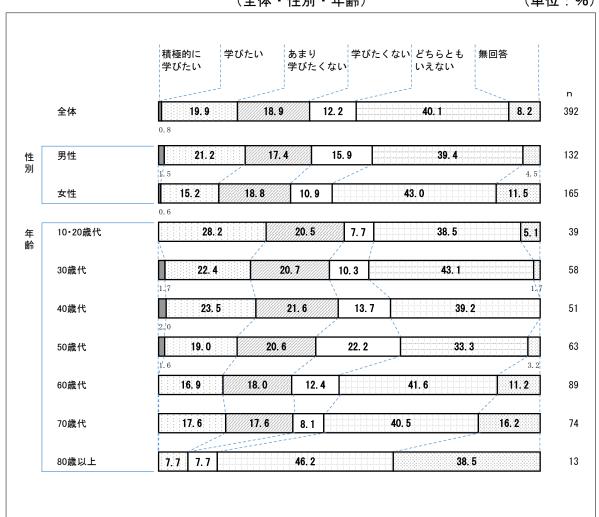
▶ 水産業の水産資源の安定確保や生態系の維持など保有する機能を学びたい人 20.7%。

水産業の水産資源の安定確保や生態系の維持など保有する機能を学びたいと思う人は、「積極的に学びたい」、「学びたい」があわせて20.7%、「あまり学びたくない」、「学びたくない」があわせて31.1%、「どちらともいえない」が40.1%となっています。

性別でみると、「積極的に学びたい」、「学びたい」をあわせた数では、男性(22.7%) が女性(15.8%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に学びたい」、「学びたい」をあわせた数では、10・20歳代が高くなっており、60歳代以上が若干低くなっています。[図表 34]

図表 34 水産業の水産資源の安定確保や生態系の維持など保有する機能学習 (全体・性別・年齢) (単位:%)



\blacksquare

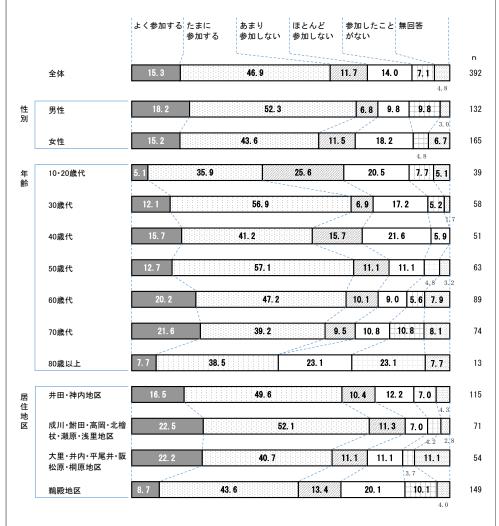
● 地域の活動・行事に参加している人は62.2%。

地域の活動・行事に参加している人は、「よく参加する」、「たまに参加する」があわせて 62.2%、「あまり参加しない」、「ほとんど参加したことがない」があわせて 25.8%、「参加したことがない」が 7.1%となっています。

性別でみると、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた数では、男性(70.5%) が女性(58.8%)を約12%上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた数では、30歳代、50歳代が高くなっており、10・20歳代、80歳以上が低くなっています。

居住地区で見ると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた数では、成川・鮒田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区(74.6%)が高くなっており、 鵜殿地区(52.3%)が低くなっています。[図表35]



29) 姉妹町をはじめ他市町村との交流を図る物産展やイベントなどに参加したいと思いますか。

 \blacksquare

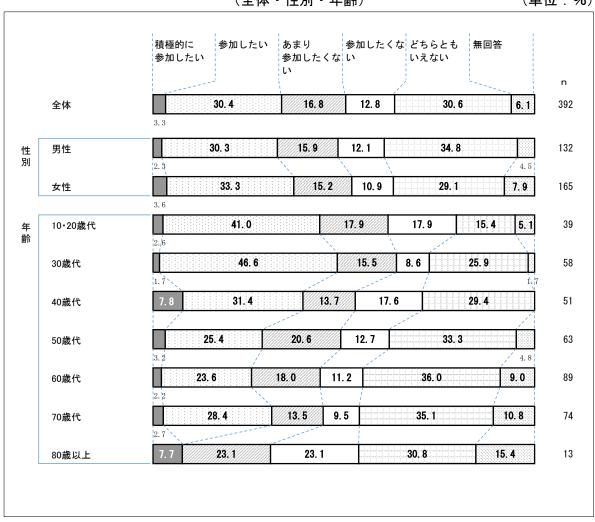
● 交流を図る物産展やイベントなどに参加したい人は33.7%。

姉妹町をはじめ他市町村との交流を図る物産展やイベントなどに参加したいと思う人は、「積極的に参加する」、「参加したい」があわせて33.7%、「あまり参加したくない」、「参加したくない」があわせて29.6%、「どちらともいえない」が30.6%となっています。

性別でみると、交流を図る物産展やイベントなどに参加したいと思う人に大きな違い はありません。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に参加する」、「参加したい」をあわせた数では、 $10 \cdot 20$ 歳代、30 歳代が高くなっており、50 歳代、60 歳代、80 歳以上が低くなっています。[図表 36]

図表 36 交流を図る物産展やイベントなどに参加 (全体・性別・年齢) (単位:%)



30) 男女共同参画社会の実現に向けての町の講座や職場での研修会に参加したことがありますか。

 \blacksquare

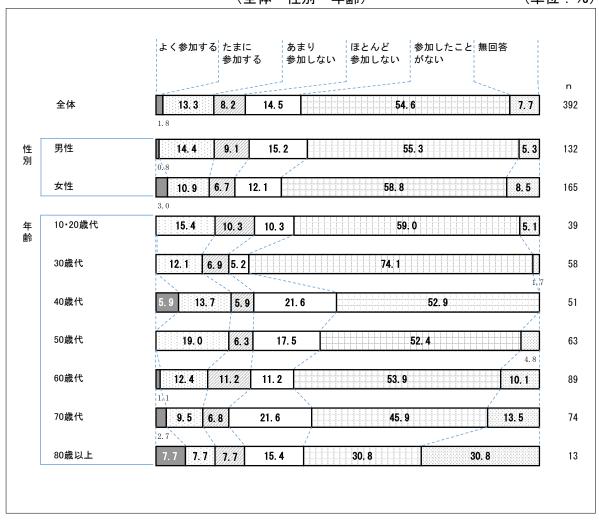
● 男女共同参画社会の講座や研修会に参加したことがある人は 15.1%。

男女共同参画社会の実現に向けての町の講座や職場での研修会に参加したことがある人は、「よく参加する」、「たまに参加する」があわせて15.1%、「あまり参加しない」、「ほとんど参加しない」があわせて22.7%、「参加したことがない」が54.6%となっています。

性別でみると、男女共同参画社会の講座や研修会に参加したことがある人に大きな違いはありません。

年齢でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた数では、40歳代、50歳代が若干高くなっており、30歳代、70歳代が若干低くなっています。[図表 37]

図表 37 男女共同参画社会の研修会に参加 (全体・性別・年齢) (単位:%)



31) 子育てに関する学習や相談の場や機会があれば、活用したいと思いますか。

 \blacksquare

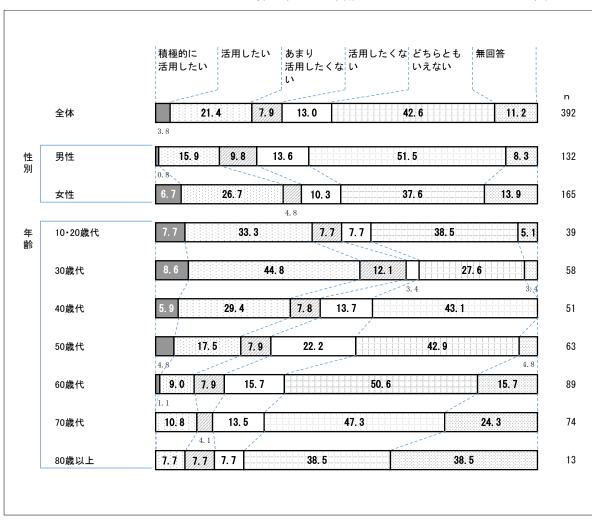
● 子育てに関する学習や相談の場や機会を活用したいと思う人は25.2%。

子育てに関する学習や相談の場や機会を活用したいと思う人は、「積極的に活用したい」、「活用したい」があわせて 25.2%、「あまり活用したくない」、「活用したくない」があわせて 20.9%、「どちらともいえない」が 42.6%となっています。

性別でみると、「積極的に活用したい」、「活用したい」をあわせた数では、女性(33.4%)が男性(16.7%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に活用したい」、「活用したい」をあわせた数では、40歳代以下が高くなっており、60歳代以上では低くなっています。[図表 38]

図表 38 子育てに関する学習や相談の場や機会の活用 (全体・性別・年齢) (単位:%)



32) 青少年の健全育成のため、PTA活動や子どもたちの校外活動、スポーツ少年団などへの参加はしていますか。

 \blacksquare

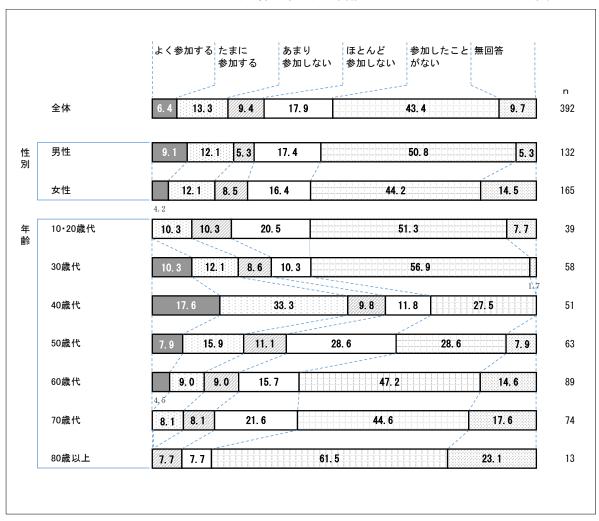
● PTA活動や子どもたちの校外活動、スポーツ少年団などへの参加している 人は19.7%。

PTA活動や子どもたちの校外活動、スポーツ少年団などへの参加している人は、「よく参加する」、「たまに参加する」があわせて19.7%、「あまり参加しない」、「ほとんど参加しない」があわせて27.3%、「参加したことがない」が43.4%となっています。

性別でみると、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた数では、男性(21.2%) が女性(16.3%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた数では、40歳代が高くなっており、10・20歳代と60歳代以上で低くなっています。 [図表39]

図表 39 PTA活動・子どもたちの校外活動・スポーツ少年団などへの参加 (全体・性別・年齢) (単位:%)



▼

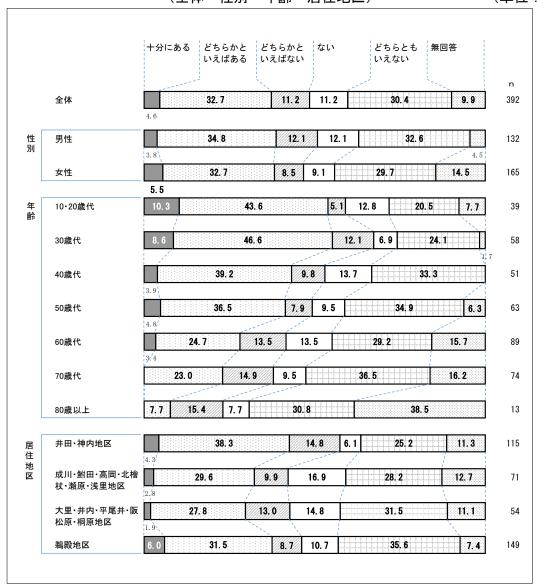
● 子どもの教育・子育て等について地域で支え合う雰囲気はあるかは37.3%。

子どもの教育・子育て等について地域で支え合う雰囲気はあるかについては、「十分にある」、「どちらかといえばある」があわせて37.3%、「どちらかといえばない」、「ない」があわせて22.4%、「どちらともいえない」が30.4%となっています。

性別でみると、男性と女性では回答に大きな違いはありません。

年齢でみると、全体と比較して、「十分にある」、「どちらかといえばある」をあわせた数では、10・20歳代、30歳代が高くなっており、60歳代以上が低くなっています。居住地区でみると、全体と比較して、「十分にある」、「どちらかといえばある」をあわせた数では、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区が低くなっています。[図表 40]

図表 40 子どもの教育・子育て等地域で支え合う雰囲気 (全体・性別・年齢・居住地区) (単位:%)



34) 児童に対するいじめ・虐待等への対策が地域で十分話し合われていますか。

▼

● 児童に対するいじめ・虐待等への対策が地域で十分話し合われているかは7.4%。

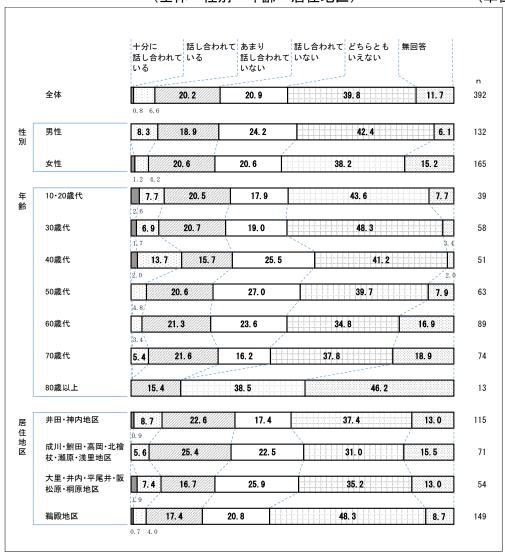
児童に対するいじめ・虐待等への対策が地域で十分話し合われているかについては、「十分に話し合われている」、「話し合われている」があわせて 7.4%、「あまり話し合われていない」、「話し合われていない」があわせて 41.1%、「どちらともいえない」が39.8%となっています。

性別でみると、男性と女性では回答に大きな違いはありません。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に話し合われている」、「話し合われている」 をあわせた数では、40歳代が高くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、回答に大きな違いはありませんが、鵜殿地区で「どちらともいえない」の数が高くなっています。[図表 41]

図表 41 児童に対するいじめ・虐待等への対策を地域での話し合い (全体・性別・年齢・居住地区) (単位:%)



▼

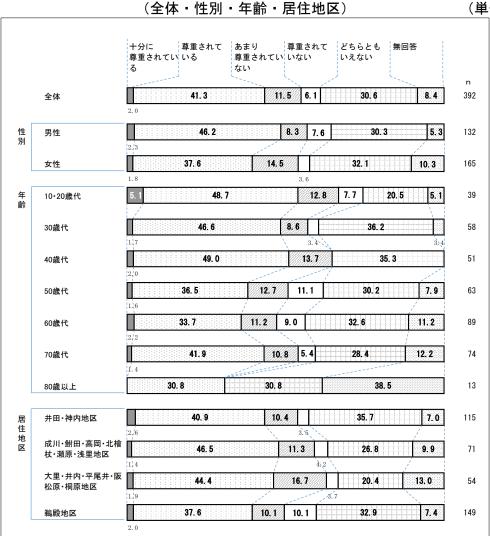
● 地域では人権が尊重されていると思う人は43.3%。

地域では人権が尊重されていると思う人は、「十分に尊重されている」、「尊重されている」があわせて 43.3%、「あまり尊重されていない」、「尊重されていない」があわせて 17.6%、「どちらともいえない」が 30.6%となっています。

性別でみると、「十分に尊重されている」、「尊重されている」をあわせた数では、男性(48.5%)が女性(39.4%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に尊重されている」、「尊重されている」をあわせた数では、 $10\cdot 20$ 歳代、40 歳代が高くなっており、50 歳代、60 歳代、80 歳以上が低くなっています。

居住地区でみると、「十分に尊重されている」、「尊重されている」をあわせた数では、 成川・鮒田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区が高くなっており、鵜殿地区が低くなって います。[図表 42]



図表 42 地域での人権尊重

(単位:%)

36) 現在、働いている方にお聞きします。安心して働ける職場環境の実現のため、育児休業や有給休暇の取得等、ワーク・ライフ・バランスのための制度を活用していますか。

 \blacksquare

● ワーク・ライフ・バランスのための制度を活用している人は 14.8%。

ワーク・ライフ・バランスのための制度を活用している人は、「十分に活用している」、「活用している」があわせて 14.8%、「あまり活用していない」、「活用していない」があわせて 29.8%、「どちらともいえない」が 14.8%となっています。

性別でみると、「あまり活用していない」、「活用していない」をあわせた数では、男性(36.3%)が女性(26.7%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に活用している」、「活用している」をあわせた数では、30歳代以下が高くなっており、60歳代以上が低くなっています。

職業でみると、「十分に活用している」、「活用している」をあわせた数では、公務員、 製造業が高くなっており、農業、建設業、運輸・通信業が低くなっています。

[図表 43-1~2]

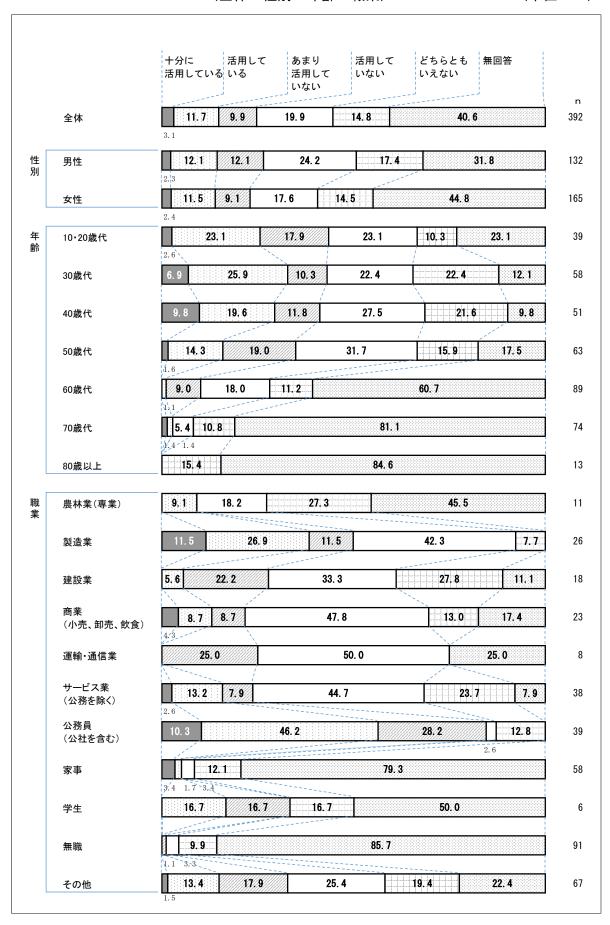
図表 43-1 就業者別ワーク・ライフ・バランス制度の活用状況

(単位:%)

	「十分に活用して いる」「活用してい		どちらともいえない	無回答
	る」の計	い」の計		
全体	14.8	29.8	14.8	40.6
農林業(専業)	9. 1	18. 2	27. 3	45. 5
製造業	38. 4	53.8	7.7	0.0
建設業	5. 6	55. 5	27. 8	11. 1
商業	13.0	56. 5	13.0	17. 4
運輸・通信業	0.0	75. 0	0.0	25. 0
サービス業	15.8	52.6	23. 7	7. 9
公務員	56. 5	30.8	12.8	0.0
その他	14. 9	43. 3	19. 4	22. 4

※家事・学生・無職を除く。

図表 43-2 ワーク・ライフ・バランス制度の活用 (全体・性別・年齢・職業) (単位:%)



▼

● 町の歴史・伝統・文化の保護継承に対して取り組んでいる人は30.3%。

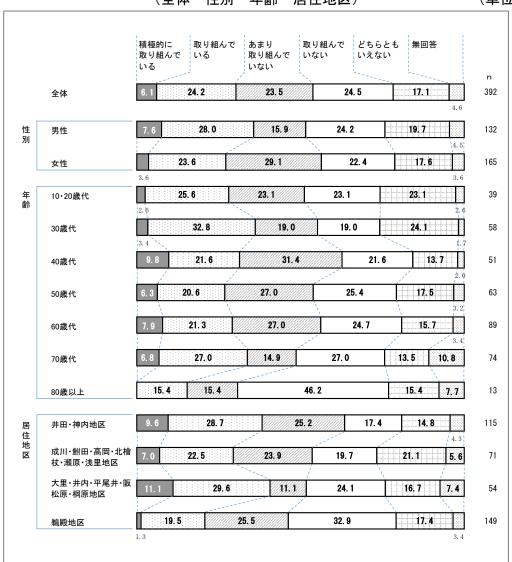
町の歴史・伝統・文化の保護継承に対して取り組んでいる人は、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」があわせて30.3%、「あまり取り組んでいない」、「取り組んでいない」があわせて48.0%、「どちらともいえない」が17.1%となっています。

性別でみると、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた数では、 男性(35.6%)が女性(27.2%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」を あわせた数では、30歳代が高くなっており、80歳以上が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」 をあわせた数では、井田・神内地区、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区が最も高くなっており、鵜殿地区が低くなっています。[図表 44]

図表 44 町の歴史・伝統・文化の保護継承への取り組み (全体・性別・年齢・居住地区) (単位:%)



38) 目的を持って学んでいるものがありますか。(学生の方は学校以外で)

▼

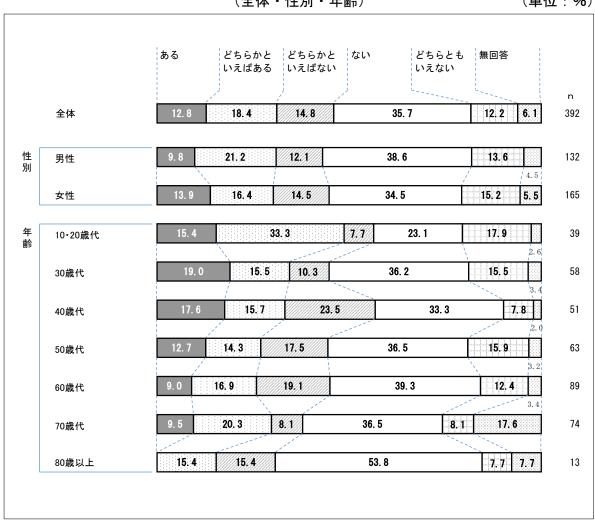
● 目的を持って学んでいるものがある人は 31.2%。

目的を持って学んでいるものがある人は、「ある」、「どちらかといえばある」があわせて 31.2%、「どちらかといえばない」、「ない」があわせて 50.5%、「どちらともいえない」が 12.2%となっています。

性別でみると、男女間で目的を持って学んでいるものがある人に大きな違いはありません。

年齢でみると、全体と比較して、「ある」、「どちらかといえばある」をあわせた数では、 $10 \cdot 20$ 歳代が高くなっており、50歳代、60歳代、80歳以上が低くなっています。 「図表 45

図表 45 目的を持って学んでいるもの (全体・性別・年齢) (単位:%)



 \blacksquare

● 地域は子どもや子育て世代にも暮らしやすいと思う人は58.4%。

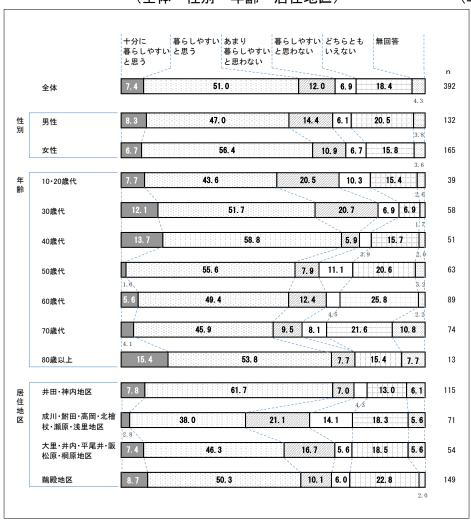
地域は子どもや子育て世代にも暮らしやすいと思人は、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」があわせて 58.4%、「あまり暮らしやすいと思わない」、「暮らしやすいと思わない」があわせて 18.9%、「どちらともいえない」が 18.4%となっています。

性別でみると、男女間で住んでいる地域が子どもや子育て世代にも暮らしやすいと思う人に大きな違いはありません。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた数では、40歳代、80歳以上が高くなっており、10・20歳代、70歳代が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた数では、井田・神内地区が高くなっており、成川・鮒田・高岡・北 檜杖・瀬原・浅里地区が低くなっています。[図表 46]

図表 46 地域は子どもや子育て世代にも暮らしやすいか (全体・性別・年齢・居住地区) (単位:%)



▼

● 地域は高齢者にも暮らしやすいと思う人は 51.8%。

地域は高齢者にも暮らしやすいと思う人は、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」があわせて 51.8%、「あまり暮らしやすいと思わない」、「暮らしやすいと思わない」があわせて 28.3%、「どちらともいえない」が 16.6%となっています。

性別でみると、男女間で地域は高齢者にも暮らしやすいと思う人に大きな違いはありません。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた数では、70歳代、80歳以上が高くなっており、50歳代、60歳代が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた数では、井田・神内地区が高くなっており、成川・鮒田・高岡・北 檜杖・瀬原・浅里地区が低くなっています。[図表 47]

(全体・性別・年齢・居住地区) 十分に 暮らしやすい あまり 暮らしやすい どちらともえ 無回答 暮らしやすい と思わない ない 暮らしやすい と思う と思う と思わない 全体 46.7 19.9 8.4 16.6 392 男性 46.2 22,7 6.8 16.7 132 49.1 21.8 15.8 女性 7. 9 165 28. 2 41.0 5. 1 15.4 5. 1 10・20歳代 39 30歳代 46.6 20.7 10.3 12.1 58 47.1 17.6 5.9 17. 6 40歳代 51 12. 7 50歳代 39.7 19.0 63 60歳代 46, 1 23.6 9.0 18.0 89 54.1 12.2 16. 2 5.4 8.1 70歲代 74 80歳以上 46.2 23. 1 13 井田·神内地区 51.3 17.4 6.1 13.0 115 居住 地区 成川・鮒田・高岡・北檜 39.4 26. 8 15.5 71 杖·瀬原·浅里地区 大里・井内・平尾井・阪 42.6 22. 2 9.3 13.0 5. 6 54 松原•桐原地区 6. 7 23. 5 鵜殿地区 47.0 18. 1 149 2.7

図表 47 地域は高齢者にも暮らしやすいか

(単位:%)

41) 住んでいる地域は障がい者(児)にも暮らしやすいと思いますか。

▼

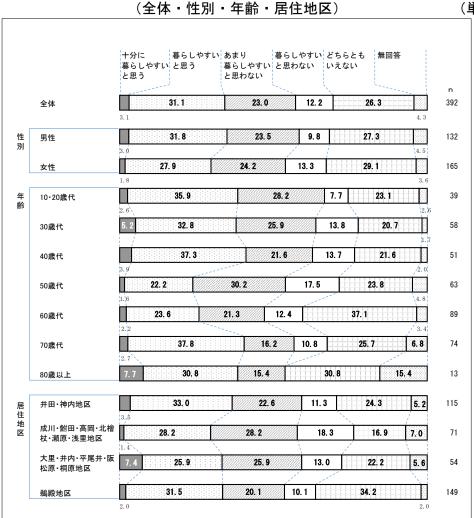
● 地域は障がい者(児)にも暮らしやすいと思う人は34.2%。

地域は障がい者(児)にも暮らしやすいと思う人は、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」があわせて34.2%、「あまり暮らしやすいと思わない」、「暮らしやすいと思わない」があわせて35.2%、「どちらともいえない」が26.3%となっています。

性別でみると、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた数では、男性(34.8%)が女性(29.7%)を若干上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた数では、40歳代、70歳代が高くなっており、50歳代と60歳代が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた数では、成川・鮒田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区が低くなっています。[図表 48]



図表 48 地域は障がい者(児)にも暮らしやすいか

(単位:%)

▼

● 地域は一人親家庭にも暮らしやすいと思う人は 41.0%。

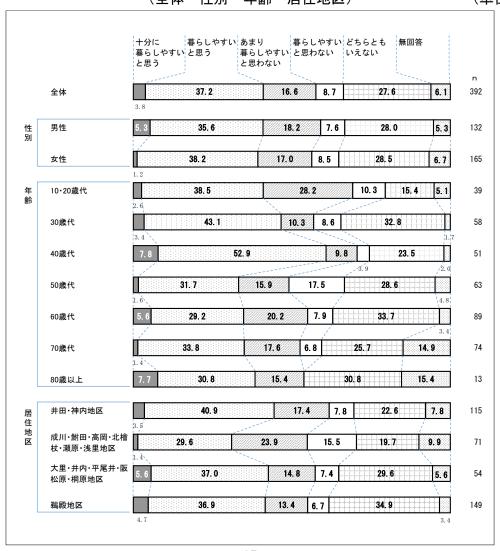
地域は一人親家庭にも暮らしやすいと思う人は、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」があわせて 41.0%、「あまり暮らしやすいと思わない」、「暮らしやすいと思わない」があわせて 25.3%、「どちらともいえない」が 27.6%となっています。

性別でみると、男女間で地域は一人親家庭にも暮らしやすいと思う人に大きな違いは ありません。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた数では、40歳代が高くなっており、50歳代、60歳代、70歳代が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた数では、成川・鮒田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区が低くなっています。[図表 49]

図表 49 地域は一人親家庭にも暮らしやすいか (全体・性別・年齢・居住地区) (単位:%)



43) 地域では高齢者や障がい者、ひとり親家庭への見守り・声掛け・手助け等は行われていますか。

▼

● 見守り・声掛け・手助け等は行われていると思う人は 29.9%。

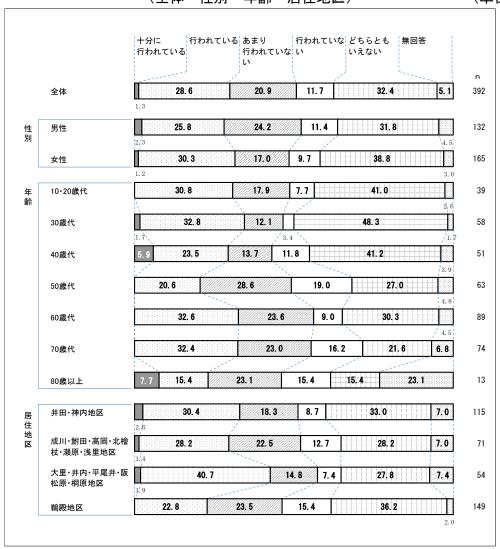
地域では高齢者や障がい者、ひとり親家庭への見守り・声掛け・手助け等は行われていると思う人は、「十分に行われている」、「行われている」があわせて 29.9%、「あまり行われていない」、「行われていない」があわせて 32.6%、「どちらともいえない」が 32.4%となっています。

性別でみると、「あまり行われていない」、「行われていない」をあわせた数では、男性(35.6%)が女性(26.7%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に行われている」、「行われている」をあわせた数では、30歳代が高くなっており、50歳代、80歳以上が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して「十分に行われて思う」、「行われている」をあわせた数では、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区が高くなっており、鵜殿地区が低くなっています。[図表 50]

図表 50 地域での見守り・声掛け・手助け等は行われているか (全体・性別・年齢・居住地区) (単位:%)



44) 地域での登下校時の見守り・パトロールや街灯整備等の安全・安心を守る取組みに参加したことがありますか。

V

● 安全・安心を守る取組みに参加したことがある人は 19.1%。

地域での登下校時の見守り・パトロールや街灯整備等の安全・安心を守る取組みに参加したことがある人は、「よく参加する」、「たまに参加する」があわせて 19.1%、「あまり参加しない」、「ほとんど参加しない」があわせて 24.8%、「参加したことがない」が50.0%となっています。

性別でみると、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた数では、男性 (19.7%) が女性 (14.5%) を若干上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた数では、40歳代が高くなっており、10・20歳代、80歳以上が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた数では、大里・井内・平尾井・阪松原・桐原地区が高くなっています。[図表 51]

よく たまに あまり ほとんど 参加したこと 無回答 参加する 参加する 参加しない 参加しない がない 全体 16.3 9.7 15.1 6.1 392 男性 17.4 9.1 14. 4 132 12.1 10.9 6. 1 13. 3 55. 2 165 10・20歳代 7.7 7.7 20.5 59.0 39 19.0 6.9 10.3 30歳代 60.3 58 29.4 5. 9 15.7 13.7 33. 3 40歳代 51 2, 0 14.3 25. 4 47.6 63 50歳代 15.7 11.2 55.1 60歳代 12.4 89 70歳代 5. 4 14. 9 9. 5 12.2 44.6 13.5 74 15.4 80歳以上 69. 2 13 井田•神内地区 17.4 7.8 15.7 48. 7 5. 2 115 住 成川·鮒田·高岡·北檜 16.9 8.5 8.5 54.9 11.3 71 杖・瀬原・浅里地区 大里·井内·平尾井·阪 20.4 5.6 18. 5 40.7 11.1 54 松原•桐原地区 12.8 13.4 16. 1 53.0 鵜殿地区 149 2.0

図表 51 地域での安全・安心を守る取組みに参加 (全体・性別・年齢・居住地区)

(単位:%)

45) クーリングオフ制度、消費者保護、消費者啓発等の消費に関わる学習に取り組んでいます か。

 \blacksquare

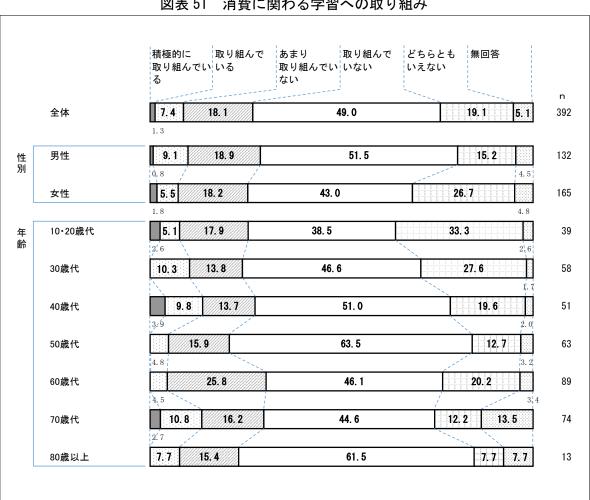
消費に関わる学習に取り組んでいる人は8.7%。

クーリングオフ制度、消費者保護、消費者啓発等の消費に関わる学習に取り組んでい る人は、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」があわせて8.7%、「あまり取 り組んでいない」、「取り組んでいない」があわせて67.1%、「どちらともいえない」が 19.1%となっています。

性別でみると、「あまり取り組んでいない」、「取り組んでいない」をあわせた数では、 男性 (70.4%) が女性 (61.2%) を若干上回っています。また、女性の「どちらともい えない」が26.7%となっています。

年齢でみると、全体と比較して、「あまり取り組んでいない」、「取り組んでいない」 をあわせた数では、40歳代、70歳代が若干高くなっており、50歳代、60歳代が低くな っています。また50歳代、80歳以上では、「取り組んでいない」の数が高くなってい ます。

[図表 51]



図表 51 消費に関わる学習への取り組み

▼

● 住宅の耐震化対策や住宅内の家具固定などをしている人は31.7%。

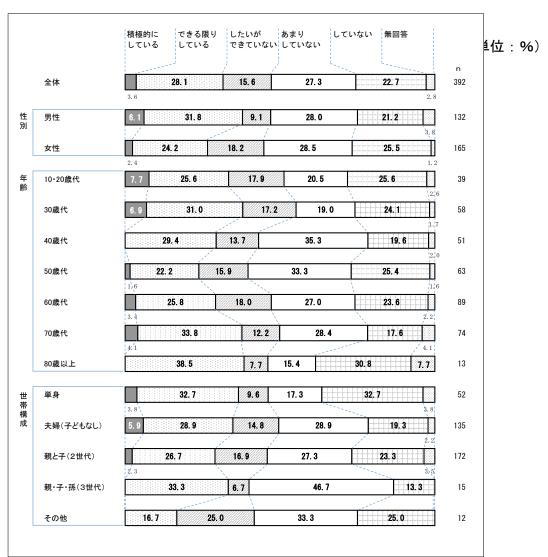
地震に備えて、住宅の耐震化対策や住宅内の家具固定などをしている人は、「積極的にしている」、「できる限りしている」があわせて31.7%、「したいができていない」、「あまりしていない」があわせて42.9%、「していない」が22.7%となっています。

性別でみると、「積極的にしている」、「できる限りしている」をあわせた数では、男性(37.9%)が女性(26.6%)を約11%上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的にしている」、「できる限りしている」をあわせた数では、30歳代、70歳代、80歳以上が高くなっており、50歳代が低くなっています。

世帯構成でみると、全体と比較して、「積極的にしている」、「できる限りしている」 を

あわせた数では、単身が高くなっており、親・子(2世代)が低くなっています。[**図表** 52]



47) 町が指定する避難場所や地域で決めている避難場所を知っていますか。

 \blacksquare

● 町か地域指定の避難場所を知っている人は8割超え。

町が指定する避難場所や地域で決めている避難場所を知っている人は、「地域指定の避難場所は知っている」(28.6%)が第1位、次いで「実際に場所を確認したことがある」(27.0%)、「町と地域指定の避難場所どちらも知っている」(17.3%)、「町指定の避難場所は知っている」(15.1%)の順となっており、何らかの形で町か地域指定の避難場所を知っている人は8割を超えています。一方、「どちらも知らない」が8.7%となっています。

性別でみると、男女ともに第1位が「地域指定の避難場所は知っている」、第2位が「実際に場所を確認したことがある」となっています。第3位が男女で違いがあり、男性は「町と地域指定の避難場所どちらも知っている」(18.2%)、女性は「町指定の避難場所は知っている」(17.6%)となっています。

年齢でみると、30歳代と40歳代では「実際に場所を確認したことがある」が第1位になっており、その他の年齢では全体と同じく「地域指定の避難場所は知っている」が第1位となっています。

地域別にみると、成川・鮒田・高岡・北檜杖・瀬原・浅里地区では「実際に場所を確認したことがある」が第1位になっており、その他の地区では全体と同じく「地域指定の避難場所は知っている」が第1位となっています。また、鵜殿地区では「どちらも知らない」(12.1%)が他の地区より若干高くなっています。「図表53]

図表 53 町と地域指定の避難場所 (全体・性別・年齢・居住地区)

(単位:%)

実際に場所を 町と地域指定 町指定の 地域指定の どちらも 無回答 確認したこと の避難場所ど 避難場所は 避難場所は 知らない がある ちらも知って 知っている 知っている いる n 17. 3 28.6 8. 7 全体 15.1 392 3.3 7.6 男性 18.2 13.6 31.1 132 性 別 女性 27. 3 15.8 17.6 28. 5 9.1 165 1.8 12.8 15.4 38.5 12.8 10・20歳代 39 年 2.6 17. 2 13.8 19.0 15.5 30歳代 32.8 58 1.7 39. 2 27. 5 40歳代 11.8 17.6 51 -- 2.0 / 2.0 22. 2 50歳代 14.3 12.7 34.9 12.7 63 3.2 60歳代 24.7 28. 1 13.5 27.0 89 ·4.5 /2.2 6.8 5.4 28. 4 70歳代 10.8 17, 6 31.1 74 80歳以上 15.4 30.8 15, 4 23. 1 7.7 7.7 13 井田•神内地区 23. 5 19.1 19.1 27.8 7, 0 115 居 住 3.5 地 成川・鮒田・高岡・北檜 33.8 15. 5 31.0 7.0 8. 5 71 区 杖•瀬原•浅里地区 4.2 大里·井内·平尾井·阪 25. 9 25. 9 29.6 7.4 7.4 54 松原•桐原地区 3. 7 26.8 18.1 13.4 鵜殿地区 28. 2 12.1 149 1.3

48) 災害時の備蓄品、持ち出し物を準備していますか。

▼

● 災害時の備蓄品、持ち出し物を準備している人は30.6%。

災害時の備蓄品、持ち出し物を準備している人は、「準備している」が 30.6%、「準備しようと思っている」、「準備していない」、「必要ないと思っている」があわせて 64.3%、「準備品がわからない」が 1.3%となっています。

性別でみると、男女間で災害時の備蓄品、持ち出し物を準備している人に大きな違い はありません。

年齢でみると、「準備している」では、全体と比較して 30 歳代が高くなっており、10・20 歳代、80 歳以上が低くなっています。

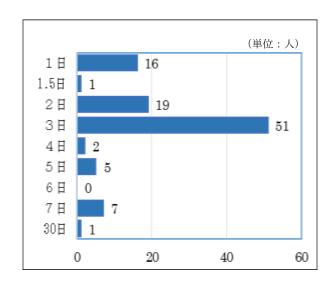
世帯構成でみると、「準備している」では、全体と比較して、単身、親・子・孫(3世代)が若干低くなっています。[図表 54-2]

また、「準備している」と答えた 120 人の方を対象に災害時の備蓄品、持ち出し物を準備している日数をたずねました。(120 人の内、回答者は 102 人/無回答者は 18 人)

回答者 102 人の準備日数は、3 日分が51 人と最も多く、最大日数は30 日分、最小日数は1日分、平均は3.14 日分となっています。[図表54-1]

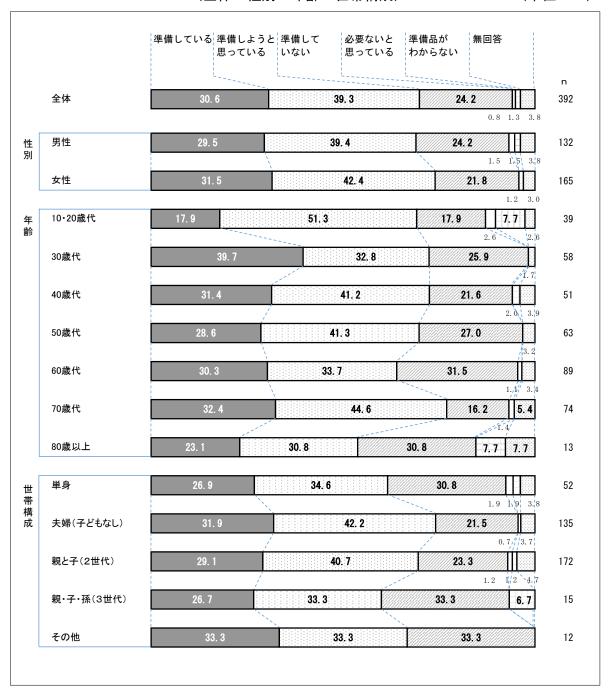
図表 54-1 災害時の備蓄品等を準備している日数(102人対象)

日数	回答人数
1日	16
1.5 日	1
2日	19
3 日	51
4日	2
5日	5
6日	0
7日	7
30 日	1
無回答	18
合計	120



図表 54-2 災害時の備蓄品、持ち出し物を準備 (全体・性別・年齢・世帯構成)

(単位:%)



49) 少子高齢化などの問題を踏まえ、国民年金や介護保険等、将来の社会保障制度について不安はありますか。

 \blacksquare

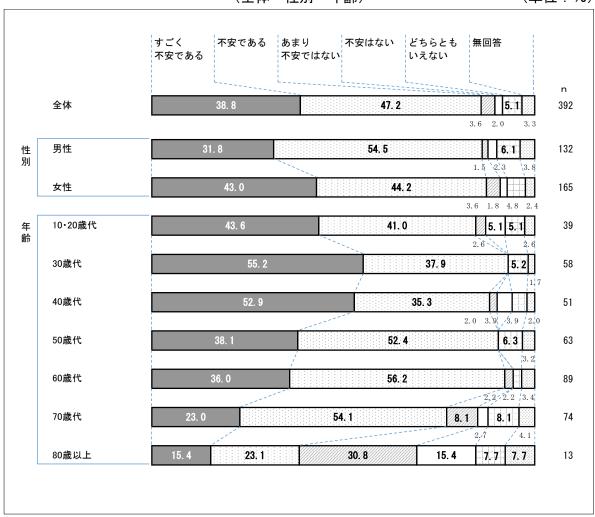
● 将来の社会保障制度について不安のある人は86.0%。

国民年金や介護保険等、将来の社会保障制度について不安のある人は、「すごく不安である」、「不安である」があわせて86.0%、「あまり不安ではない」、「不安はない」があわせて5.6%、「どちらともいえない」が5.1%となっています。

性別でみると、男女間で国民年金や介護保険等、将来の社会保障制度について不安の ある人に大きな違いはありません。

年齢でみると、全体と比較して、「すごく不安である」、「不安である」をあわせた数では、30歳代、60歳代が高くなっており、70歳代、80歳以上が低くなっています。 「図表 55]

図表 55 将来の社会保障制度への不安 (全体・性別・年齢) (単位:%)



 \blacksquare

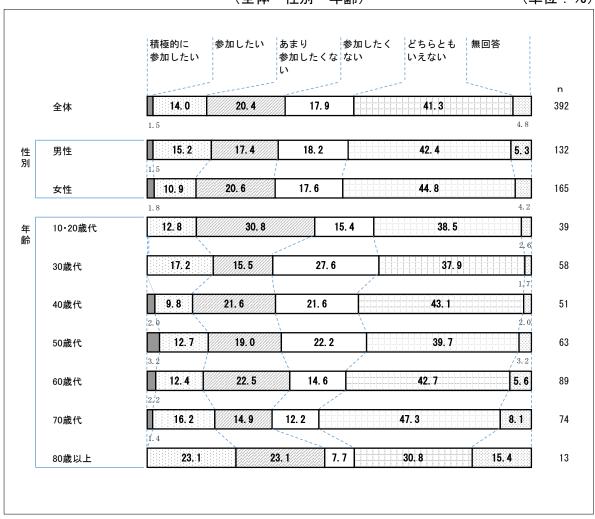
● ワークショップや検討委員会に参加してみたいと思う人は 15.5%。

ワークショップや検討委員会に参加してみたいと思う人は、「積極的に参加したい」、「参加したい」があわせて15.5%、「あまり参加したくない」、「参加したくない」があわせて38.3%、「どちらともいえない」が41.3%となっています。

性別でみると、男女間でワークショップや検討委員会に参加してみたいと思う人に大きな違いはありません。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせた数では、80歳以上が高くなっており、10・20歳代、40歳代が若干低くなっています。 「図表 561

図表 56 ワークショップや検討委員会に参加 (全体・性別・年齢) (単位:%)



51) 町の行財政に関する情報について、広報などを読んで関心を深めていますか。

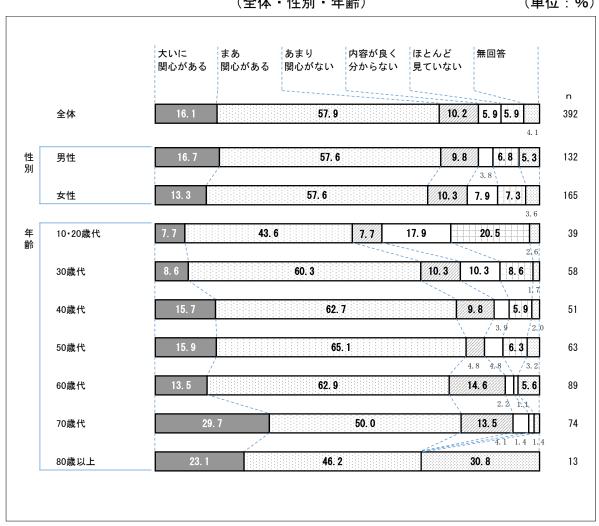
深めている人に大きな違いはありません。

● 町の行財政に関する情報について、広報などを読んで関心を深めている人は 74.0%。

町の行財政に関する情報について、広報などを読んで関心を深めている人は、「大いに関心がある」、「まあ関心がある」があわせて 74.0%、「あまり関心がない」、「内容が良く分からない」があわせて 16.1%、「ほとんど見ていない」が 5.9%となっています。 性別でみると、男女間で町の行財政に関する情報について、広報などを読んで関心を

年齢でみると、全体と比較して「大いに関心がある」、「まあ関心がある」をあわせた数では、40歳代、50歳代、70歳代が高くなっており、10・20歳代、80歳以上が低くなっています。[図表 57]

図表 57 町の行財政に関する情報を広報など読んで関心を深めているか (全体・性別・年齢) (単位:%)



Ⅲ 自由意見

■紀宝町のまちづくりに対する要望・意見・提案等

問9 現在、もしくは将来に向けて町政に望むことや、まちづくりに関するご意見・ご提案 等がありましたら、ご自由にご記入ください。。

 \blacksquare

本町の町政に対する要望、まちづくりに対して寄せられた要望・意見・提案等をテキストマイニング方式により単語やフレーズを抽出し、該当する各分野へ分類したところ、下表のように「1 利便性」、「2 快適性」、「4 産業・観光」への要望・意見・提案等が多くみられました。

	分野	該当項目等	計
1	利便性	公共交通機関(鉄道・バスなど)・道路・買い物(日用品、衣料品、電化製品)・働く場の確保(町内)・情報基盤(インターネット環境など)などの状況に関すること	24
2	快適性	自然環境(大気・水環境、動物・植物など)・景観・海岸・河川環境の整備と保全・住宅や宅地・子どもの遊び場や居場所・公園・上水道の整備・合併処理浄化槽などの整備・ごみの分別収集や資源回収・公害問題(騒音・振動・悪臭・大気汚染等)・土地利用や市街地整備、空き家対策などの状況に関すること	26
3	安全性	交通事故防止対策・消防・救急体制・地震・台風等への防災対策・津波への防災対策・防犯・振り込め詐欺や悪徳商法に対する相談体制などの状況に関すること	15
4	産業・観光	農業、林業、水産業、商業、工業(担い手の育成、整備・保全・支援など)・ 新規雇用・産業の創出・観光資源の発掘やPR・特産品の開発や普及活動・ 企業誘致などの状況に関すること	23
5	保健•福祉	健康づくりに取り組む機会・健康診断や保健指導の体制・受診体制・高齢者や障がい者(児)のための施設・福祉サービス・高齢者や障がい者(児)が生きがいを持てる機会・国民健康保険、介護保険制度等の運営、病院・医療などの状況に関すること	10
6	子育て支援	子どもにとって安全・安心なまちづくり・保育料・教育費などの負担軽減・ 住民が子どもの心を育む地域づくり・保育体制が充実・男性も子育てに参加 できる環境づくり・子どもが楽しく過ごせるまちづくり・子や親のネットワ ークづくり・子育て相談・情報提供・ひとり親家庭への福祉サービス・子ど もの人権・権利を守る意識の啓発活動などの状況に関すること	10
7	教育•文化	小・中学校の学習活動や施設・設備・生涯学習の機会・スポーツ、レクリエーション施設・文化・芸術活動の場や文化施設・文化財の保存と活用・娯楽やレジャーの環境・就学相談・教育相談等・青少年の健全育成を促す地域づくりなどの状況に関すること	8
8	地域生活	ボランティア活動・近隣付き合い・公民館活動や区、組の活動・地域活動への住民参加の機会・住民団体や NPO などの育成、支援・祭りやイベント・国内・国際交流などの状況に関すること	10
9	行財政	情報等の入手・町民が意見や要望を言える機会・役場職員の窓口や現場での対応・行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政)運営・広域行政・男女共同参画や人権尊重の地域づくりなどの状況に関すること	14
10	その他	上記に該当しないもの(まちづくり等)	36
		合 計	176

Ⅳ アンケート票

町民アンケート調査ご協力のお願い

【第2次紀宝町総合計画策定に向けて】

町民の皆様には、日頃から町政にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本町では、「第1次紀宝町総合計画」の計画期間が平成28年度をもって終了することを受けて、平成29年度から平成38年度を計画期間とした「第2次紀宝町総合計画」の計画づくりを進めています。

そこで、今後のまちづくりを進めるにあたり、町民の皆様のご意見をお聴き し、調査結果を新たな計画に活かしていきたいと考えています。

お仕事や家事などでご多忙のところ、大変お手数をおかけいたしますが、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

※町では、このアンケート調査の対象者を、紀宝町にお住まいの 18 歳以上の住民 1,100人(無作為抽出)を対象に選ばせていただきました。今後のまちづくりについて、ぜひ、ご意見をお聴かせください。なお、ご記入いただいた内容は、総合計画策定のための分析のみに使用し、個人が特定されることはありません。

平成 28 年7月

紀宝町長 西田 健

【記入にあたってのお願い】

- 1. 調査対象として選ばれたご本人がお答えください。
- 2. ご記入は、えんぴつ、シャープペン、ボールペンなどで結構ですが、確認 できるよう濃く記入してください。
- 3. 〇印は、番号を囲むように濃くつけてください。(例 ①.)
- 4. お答えは、設問ごとに(<u>1つに〇</u>)、(<u>2つに〇</u>)等それぞれ指定されていますので、お間違えのないようお願いします。

【返送方法】

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて **7月25日(月)** までに最寄りの郵便ポストに投函してください。(切手はいりません)

【お問い合わせ先】

紀宝町役場 企画調整課 総合計画担当

電 話: 0735-33-0334

E-mail: kikaku@town.kiho.lg.ip

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで 1つに〇印をつけてください。

<u>1 万に〇印</u> を フル C		
(1)あなたの性別	1. 男性	2. 女性
(2)あなたの年齢	1. 10 · 20 歳代 2. 30 歳代 3. 40 歳代 4. 50 歳代	5.60 歳代 6.70 歳代 7.80 歳以上
(3)あなたの世帯構成	1. 単身 2. 夫婦(子どもなし) 3. 親と子(2世代)	4. 親・子・孫(3世代) 5. その他
(4)あなたの職業 (※主たるもの)	1. 農林業(専業) 2. 製造業 3. 建設業 4. 商業(小売、卸売、飲食) 5. 運輸・通信業 6. サービス業(公務を除く)	11. その他
(5)あなたの就学先・ 勤務先	1. 町内 2. 新宮市 3. 御浜町 4. 熊野市	 その他県内 その他県外 就学・勤務していない
(6)あなたの居住年数 (※通算年数、合併 前旧町村を含む)	1. 3年未満 2. 3年以上 10年未満 3. 10年以上 20年未満 4. 20年以上	
(7)あなたの居住地区	 井田・神内地区 成川・鮒田・高岡・北橋 大里・井内・平尾井・原 鵜殿地区 	

問2 あなたは、紀宝町に対して「自分の町」としての愛着をどの程度感じていますか。 (1つに〇印)

- 1. とても愛着を感じている
- 2. どちらかというと愛着を感じている
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり愛着を感じていない
- 5. 愛着を感じていない

問3 あなたは、これからも紀宝町に住み続けたいと思いますか。(1つに〇印)

- 1. 住み続けたい
- 2. どちらかといえば住み続けたい
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば住みたくない
- 5. 住みたくない(できれば町外へ引越したい)

問4 あなたは、紀宝町のどのようなところに魅力を感じていますか。(3つまでO印)

- 1. 自然環境が豊かである
- 2. 公園・広場などが整っている
- 3. 道路・交通の便が良い
- 4. ごみ収集や浄化槽による生活排水の 処理などの生活環境が整っている
- 5. 情報通信網が整っている
- 6. 消防・防災・防犯体制が整っている
- 7. 文化・スポーツ環境が整っている
- 8. 子育て・教育環境が整っている
- 9. 福祉環境が整っている

- 10. 保健・医療環境が整っている
- 11. 買物の便が良い
- 12. 働く場が整っている
- 13. 活力ある地場産業がある
- 14. 人情味や地域の連帯感がある
- 15. 行政サービスが充実している
- 16. 特に魅力を感じない
- 17. その他

- 具体的に:

問5 紀宝町の現在の状況(満足度)と今後のまちづくりにおける重要度についておたずねします。((1)と(2)について、それぞれの項目ごとに1つずつ〇印)

評価		(1)清 町の行 てどう		況に			かまちて 要度にこ		
項目	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である		重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
*記入例	1	2	3	4		1	2	3	4
1 利便性									
①鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
②道路が便利である	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
③食品や日用品の買い物がしやすい	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
④衣料品や電化製品などの買い物が しやすい	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑤働く場が確保されている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑥情報基盤(インターネット環境など)が充実している	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
2 快適性									
①自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全	1	2	3	4	→	1	2	3	4
②田園風景など景観が良い	1	2	З	4	\rightarrow	1	2	3	4
③海岸・河川環境の整備と保全	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
④住宅や宅地に恵まれている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑤身近なところに子どもの遊び場や居 場所がある	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑥ゆったりと過ごせる公園などがある	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑦上水道の整備が進んでいる	1	2	3	4	↑	1	2	თ	4
⑧合併処理浄化槽などの整備が進んでいる	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑨ごみの分別収集や資源回収が進められている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑩騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害 問題が少ない	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4

		(1)流	記度				(2)重	要度	
		町のき	うの状 う思い	況に			つまち:	づくりに ついてと	
評価	か。					います	すか。		
項目	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である		重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
①土地利用や市街地整備が適切にさ れている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
3 安全性									
①歩道の整備など、交通事故防止対策 が充実している	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
②消防・救急体制が整っている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
③地震・台風等への防災対策が整っている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
④沿岸整備など、津波への防災対策が整っている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑤街路灯など、防犯の面で安心である	1	2	З	4		1	2	З	4
⑥消費者への振り込み詐欺や悪徳商 法に対する相談体制が整っている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
4 産業・観光									
①農業(担い手の育成、農地の整備など)の振興	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
②林業(担い手の育成、共生林等の 保全など)の振興	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
③水産業(担い手育成、漁場の整備 など)の振興	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
④商業(商業地域の形成や商業者への支援)の振興	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑤工業(既存企業の育成・支援)の 振興や企業誘致	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑥新規雇用・産業の創出	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑦観光資源の発掘やPR	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑧特産品の開発や普及活動	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
5 保健・福祉									
①健康づくりに取り組む機会が充実している	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
②健康診断や保健指導の体制が充実 している	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4

		(1)流		:			(2)重	要度	
	紀宝		<u>ラの</u> 状			今後0		づくりに	こおけ
=11 /#		てどう	う思い	ます				ついてと	ごう思
評価	か。		I	I		います	すか。		
項目	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である		重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
③病気やけがなどで困ったときに、 すぐ受診でき安心である	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
④高齢者のための施設・福祉サービ スが充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑤障がい者(児)のための施設・福 祉サービスが充実している	1	2	3	4		1	2	3	4
⑥高齢者が生きがいを持てる機会が 充実している	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑦障がい者(児)が生きがいを持て る機会が充実している	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑧国民健康保険、介護保険制度等の 運営が適切にされている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
6 子育て支援									
①子どもにとって安全・安心なまち づくりをしている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
②保育料・教育費などの負担軽減が されている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
③住民が子どもの心を育む地域づく りをしている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
④保育園、学童保育など、保育体制 が充実している	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑤男性も子育てに参加できる環境づ くりができている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑥子どもが楽しく過ごせるまちづく りをしている	1	2	3	4	→	1	2	3	4
⑦子ども同士、親同士のネットワークづくりが充実している	1	2	3	4	→	1	2	3	4
◎子育て相談・情報提供が充実している◎ひとり親家庭への福祉サービスが	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
90とり親家庭への福祉リービスが 充実している ⑩子どもの人権・権利を守る意識の	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
啓発活動が充実している	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
①医療費の無料化が充実している	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
7 教育・文化									
①小・中学校の学習活動が充実し、成果があがっている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4

		(1)流	起				(2)重	要度	
		町の名					つまちこ		
評価	ついてどう思います か。				の里勢	要度に1 すか。)	こつ思	
	満足してい	やや満足-	やや不満である	不満である		重要である	やや重要である	あまり重要ではな	重要ではな
項目	いる	している	である	0		6	である	ではない	ない
②小・中学校の施設・設備が充実して いる	1	2	3	4	→	1	2	3	4
③誰もが学べる生涯学習の機会が充実している	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
④スポーツ・レクリエーション施設が 整っている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑤文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑥文化財の保存と活用ができている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑦娯楽やレジャーの環境が整っている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑧就学相談・教育相談等が充実している	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑨青少年の健全育成を促す地域づく りができている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
8 地域生活									
①近隣の人たちと仲の良い生活ができている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
②公民館活動や区・組の活動などが活 発である	1	2	3	4	→	1	2	3	4
③地域活動への住民参加の機会がたく さんある	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
④住民団体や NPO などの育成・支援が充実している	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑤ボランティア活動が活発である	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑥祭りやイベントが充実している	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑦国内・国際交流が盛んである	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
9 行財政									
①町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	1	2	3	4		1	2	3	4
②町民が意見や要望を言える機会がある	1	2	3	4	→	1	2	3	4
③役場職員の窓口や現場での対応は 適切にできている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4

評価		町のき	ラの状 う思い	況に			Dまち1 要度に1		こおけ
項目	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である		重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
④行財政(組織や事務事業などの見 直し、健全な財政)運営	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑤町では、近隣市町村と連携した広 域行政ができている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4
⑥男女共同参画や人権尊重の地域づ くりができている	1	2	3	4	\rightarrow	1	2	3	4

問6 10年後の町の将来像(あるべき姿)についてお聞きします。あなたは紀宝町が どんな町になればよいと思いますか。(3つまで〇印)

- 1. 水と緑の豊かな自然環境のあるまち
- 2. 歴史文化を大切に継承・活用していくまち
- 3. 大学や高校などと連携した学校教育が充実したまち
- 4. 趣味の文化活動やスポーツの盛んなまち
- 5. 高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち
- 6. 子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち
- 7. 医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち
- 8. 道路交通網や情報網など、地域基盤の整備されたまち
- 9. 住宅地開発や公園や上下水道の整備など、快適で良好な住宅環境のまち
- 10. 環境に優しくエコロジーなまち
- 11. 商工業・観光業などの産業が発展し雇用が確保されたにぎわいのあるまち
- 12. 観光・レクリエーション施設や祭り・イベントの充実したまち
- 13. 若者や女性が活躍できるまち
- 14. 地域間交流・国際交流の活発なまち
- 15. 住民のまちづくり活動やボランティア活動が活発なまち
- 16. 各地区の地域活動(コミュニティ活動)が活発なまち
- 17. 行政サービスが充実した安定性・自立性の高いまち
- 18. その他ご意見をお聞かせください

問7 あなたの生活や地域のことについて、おたずねします。 この1年くらいのことをふりかえってみてお答えください。(1つに〇印)

- 1)健康づくりに取り組んでいますか。
- - 4. 取り組んでいない 5. どちらともいえない
- 2) 健康維持のため、各種健康診断や健康相談を受けていますか。
 - 1. 年に数回は受けている
- 2. 年に一度は受けている
- 3. 受ける必要がない(健康である) 4. 受けたことがない
- 3) スポーツ活動(ウォーキング等、軽スポーツ・運動を含む)に、どれくらい取り組んで いますか。
- 1. 週2回以上 2. 週1回程度 3. 月2回程度
- 4. 月1回程度 5. ほとんど取り組んでいない
- 4) 地域の公園を利用していますか。
 - 1. よく利用する
- 2. たまに利用する
- 3. あまり利用しない
- 4. ほとんど利用しない 5. 利用したことがない
- 5) ふだん公共の交通機関を利用していますか。
 - 1. よく利用する
- 2. たまに利用する
- 3. あまり利用しない
- 4. ほとんど利用しない 5. 利用したことがない
- 6)地域では、開発行為や土地の売買、利用にあたっては、自然環境との調和を図っていま すか。
 - 1. 十分に図っている
- 2. 図っている
- 3. あまり図っていない 4. 図っていない 5. どちらともいえない
- 7)地域では、住宅の新築、建て替えなどの際、地域の景観に配慮した住環境づくりをして いますか。
- 1. 十分に配慮している
 2. 配慮している
 3. あまり配慮していない
 4. 配慮していない
 5. どちらともいえない

 積極的に活用している あまり活用していない 	 活用している 活用していない 	5. どちらともいえない
10) 町からの情報を収集するとき、- ンを活用していますか。	インターネットや役場等に置	置かれている公開用のパソコ
 積極的に活用している あまり活用していない 		5. どちらともいえない
11)町の景観の保全のためにゴミ拾	いなどの活動をしています	か。
 1. 積極的にしている 2. あまりしていない 	2. たまにしている 4. ほとんどしていない	5. したことがない
12)自然への理解を深める活動など	こ参加していますか。	
 1. 積極的にしている 2. あまりしていない 	2. たまにしている 4. ほとんどしていない	5. したことがない
13) 河川・海岸の環境美化活動など	こ参加していますか。	
 積極的にしている あまりしていない 	2. たまにしている 4. ほとんどしていない	5. したことがない
14) 町には、世界遺産「紀伊山地の 全のため、清掃活動等に参加し		王していますが、古道等の保
1. よく参加する 2. たる 3. あまり参加しない 4. ほる		5. 参加したことがない
15) 文化財やその周辺地域の保存を	前提とした学習活動に参加	したことがありますか。
 よく参加する あまり参加しない は 		5. 参加したことがない

8) 花の植栽や清掃活動などによる美しい道や安全で快適な道路環境づくりに参加したいと

3. あまり参加したくない 4. 参加したくない 5. どちらともいえない

1. 積極的に参加したい 2. 参加したい

9) 町の港湾を親水空間や交流などの拠点として活用していますか。

思いますか。

- 16) 家庭では積極的に節水に配慮していますか。
 - 1. 積極的に配慮している 2. 配慮している
 - 3. あまり配慮していない 4. 配慮していない
- 5. どちらともいえない
- 17) 台所の野菜クズやお風呂場の髪の毛等、汚物を流さないように対策をし、生活排水の処 理について配慮していますか。
 - 1. 積極的に配慮している 2. 配慮している
 - 3. あまり配慮していない 4. 配慮していない 5. どちらともいえない

- 18) 電気のムダ使いを気にかけるなど、環境に配慮していますか。
 - 1. 積極的に配慮している 2. 配慮している
 - 3. あまり配慮していない 4. 配慮していない
- 5. どちらともいえない
- 19) 製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいますか。
 - 1. 積極的に選んでいる 2. 選んでいる
- - 3. あまり選んでいない
- 4. 選んでいない 5. どちらともいえない
- 20) 環境に優しい循環型社会の実現のため、リデュース(ごみの発生抑制)、リユース(再 使用)、リサイクル(ゴミの再生利用)などの3R活動に取り組んでいますか。
 - 1. 積極的に取り組んでいる 2. 取り組んでいる
- - 3. あまり取り組んでいない 4. 取り組んでいない 5. どちらともいえない
- 21)町の商業の振興のため、意識して地域で買い物をするようにしていますか。
 - 1. 町内で買い物をする
- 2. できる限り町内で買い物をする
- 3. あまり町内で買い物はしない 4. 町内外を意識して買い物をすることはない
- 5. 買い物は町外でする
- 22)町の工業の振興のための企業誘致や工場誘致についてどう思いますか。
 - 1. 積極的に進めるべき
- 2. 町の実情に合わせてバランスよく進めるべき
- 3. 自然の保護に力を入れるべき 4. 企業誘致や工場誘致に反対
- 5. どちらともいえない

-		
	町の特産品として他の市町村の か。)人へ自信をもって薦めることができるものはありま
	. ある 3. どちらかといえばない	 2. どちらかといえばある 4. ない 5. どちらともいえない
	農業の持続的発展のために、食料 びたいと思いますか。	糧生産や生態系の維持といった、その保有する機能を
	. 積極的に学びたい 3. あまり学びたくない	 学びたい 学びたくない どちらともいえない
	*業の持続的発展のために、環境がたいと思いますか。	境保全や生態系の維持といった、その保有する機能を
	. 積極的に学びたい 3. あまり学びたくない	 学びたい 学びたくない どちらともいえない
	k産業の持続的発展のために、z する機能を学びたいと思います;	水産資源の安定確保や生態系の維持といった、その保 ^っ か。
	. 積極的に学びたい 3. あまり学びたくない	 学びたい 学びたくない どちらともいえない
28) 均	地域の活動・行事に参加している	ますか。
		たまに参加する ほとんど参加しない 5. 参加したことがない
29) 姉 か		流を図る物産展やイベントなどに参加したいと思いま
	. 積極的に参加したい 3. あまり参加したくない	

23) 町の観光の振興のため、観光客と住民がともに楽しめるイベントや案内などのボランテ

1. 積極的に参加したい
 2. 参加したい
 3. あまり参加したくない
 4. 参加したくない
 5. どちらともいえない

ィアに参加したいと思いますか。

		積極的に活用したい あまり活用したくない			5. d	どちらともいえない
32)		ル年の健全育成のため、PTA 参加はしていますか。	\活重	動や子どもたちの校外〉	舌動、	、スポーツ少年団などへ
		よく参加する 2. あまり参加しない 4.			5.	参加したことがない
33)	子。	どもの教育・子育て等について	ー C地I	ッで支え合う雰囲気は で支え合う雰囲気は	あり	ますか。
		十分にある どちらかといえばない				どちらともいえない
34)	児童	童に対するいじめ・虐待等への	の対象	策が地域で十分話し合	われ	ていますか。
		十分に話し合われている あまり話し合われていない			5.	どちらともいえない
35)	地	或では人権が尊重されている。	と思い	ハますか。		
		十分に尊重されている あまり尊重されていない			5.	どちらともいえない
36)		E、働いている方にお聞きしま 自給休暇の取得等、ワーク・				
		十分に活用している あまり活用していない	-	活用している 活用していない	5.	どちらともいえない

30) 男女共同参画社会の実現に向けての町の講座や職場での研修会に参加したことがありま

3. あまり参加しない 4. ほとんど参加しない 5. 参加したことがない

2. たまに参加する

31)子育てに関する学習や相談の場や機会があれば、活用したいと思いますか。

すか。

1. よく参加する

37) 祭り・行事への参加等、町の歴史・伝統・文化の保護継承に対して取り組んでいますか。

1. 積極的に取り組んでいる 2. 取り組んでいる

3. あまり取り組んでいない 4. 取り組んでいない 5. どちらともいえない

38)目的を持って学んでいるものがありますか。(学生の方は学校以外で。)

1. ある

2. どちらかといえばある

3. どちらかといえばない

4. ない

5. どちらともいえない

39)住んでいる地域は子どもや子育て世代にも暮らしやすいと思いますか。

1. 十分に暮らしやすいと思う

2. 暮らしやすいと思う

3. あまり暮らしやすいと思わない 4. 暮らしやすいと思わない

5. どちらともいえない

40)住んでいる地域は高齢者にも暮らしやすいと思いますか。

1. 十分に暮らしやすいと思う

2. 暮らしやすいと思う

3. あまり暮らしやすいと思わない 4. 暮らしやすいと思わない

5. どちらともいえない

41) 住んでいる地域は障がい者(児)にも暮らしやすいと思いますか。

1. 十分に暮らしやすいと思う
 2. 暮らしやすいと思う
 3. あまり暮らしやすいと思わない
 4. 暮らしやすいと思わない

5. どちらともいえない

42) 住んでいる地域は一人親家庭にも暮らしやすいと思いますか。

1. 十分に暮らしやすいと思う

2. 暮らしやすいと思う

3. あまり暮らしやすいと思わない 4. 暮らしやすいと思わない

5. どちらともいえない

43) 地域では高齢者や障がい者、ひとり親家庭への見守り・声掛け・手助け等は行われてい ますか。

1. 十分に行われている 2. 行われている

3. あまり行われていない 4. 行われていない 5. どちらともいえない

	3. あまり取り組んでいない 4. 取り組んでいない 5. どちらともいえない
46)) 地震に備えて、住宅の耐震化対策や住宅内の家具固定などをしていますか。
	 1. 積極的にしている 2. できる限りしている 3. したいができていない 4. あまりしていない 5. していない
47)	町が指定する避難場所や地域で決めている避難場所を知っていますか。
	1. 実際に場所を確認したことがある 2. 町と地域指定の避難場所どちらも知っている 3. 町指定の避難場所は知っている 4. 地域指定の避難場所は知っている 5. どちらも知らない
48)) 災害時の備蓄品、持ち出し物を準備していますか。
	 準備している(日分) 準備しようと思っている 準備していない 必要ないと思っている 準備品がわからない
49)) 少子高齢化などの問題を踏まえ、国民年金や介護保険等、将来の社会保障制度について 不安はありますか。
	1. すごく不安である2. 不安である3. あまり不安ではない4. 不安はない5. どちらともいえない
50)) 町の各種計画策定における、ワークショップや検討委員会に参加してみたいと思いますか。
	 1. 積極的に参加したい 2. 参加したい 3. あまり参加したくない 4. 参加したくない 5. どちらともいえない

44) 地域での登下校時の見守り・パトロールや街灯整備等の安全・安心を守る取組みに参加

1. よく参加する2. たまに参加する3. あまり参加しない4. ほとんど参加しない5. 参加したことがない

45) クーリングオフ制度、消費者保護、消費者啓発等の消費に関わる学習に取り組んでいま

2. たまに参加する

1. 積極的に取り組んでいる 2. 取り組んでいる

したことがありますか。

1. よく参加する

すか。

51)	町の行射以に関する情報について、仏報なこを読んで関心を深めていますか。	
	 大いに関心がある まあ関心がある あまり関心がない 内容が良く分からない ほとんど見ていな 	:U
問8	10年後の町の姿を思い描いた <u>キャッチフレーズ</u> 、または <u>キーワード</u> を、ご記ください。 	₹ <i>7</i>
例)	海・山・川の恵みに抱かれ、ともに輝き創造するまち 等々	
問 9	現在、もしくは将来に向けて町政に望むことや、まちづくりに関するご意見 ご提案等がありましたら、ご自由にご記入ください。	<u> </u>

115

ご協力ありがとうございました。